

◆ 江東区 ◆

# 中小企業の景況

令和6年度第2四半期

(令和6年7月～9月期)



隅田川テラスの夜景



## 目 次

都内中小企業の景況（令和6年7月～9月期）	1
江東区内中小企業の景況（令和6年7月～9月期）	2
製造業	3
卸売業	7
小売業	11
サービス業	15
日銀短観	18
特別調査「中小企業におけるデジタル化とキャッシュレスへの対応について」	19
中小企業景況調査 比較表	22
中小企業景況調査 転記表	25








## 調査の概要

- |               |                           |
|---------------|---------------------------|
| 1. 調査時期       | 令和6年7月～9月期を対象に令和6年9月上旬に実施 |
| 2. 調査方法       | 面接聴取調査                    |
| 3. 調査の対象と回収状況 | 有効回収率 97.7%               |

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製 造 業	106	104
卸 売 業	24	24
小 売 業	38	38
サ ー ビ ス 業	35	32
建設業・不動産業	15	15
合 計	218	213

### 4. 未回収事業所の内訳

	倒産・廃業	取引解消	事業転換	移 転	調査拒否	休 業	不在が続く	その他	合 計
6 業 種 計	0	0	0	0	0	0	5	0	5
製 造 業	-	-	-	-	-	-	2	-	2
卸 売 業	-	-	-	-	-	-	-	-	0
小 売 業	-	-	-	-	-	-	-	-	0
サ ー ビ ス 業	-	-	-	-	-	-	3	-	3
建設業・不動産業	-	-	-	-	-	-	-	-	0

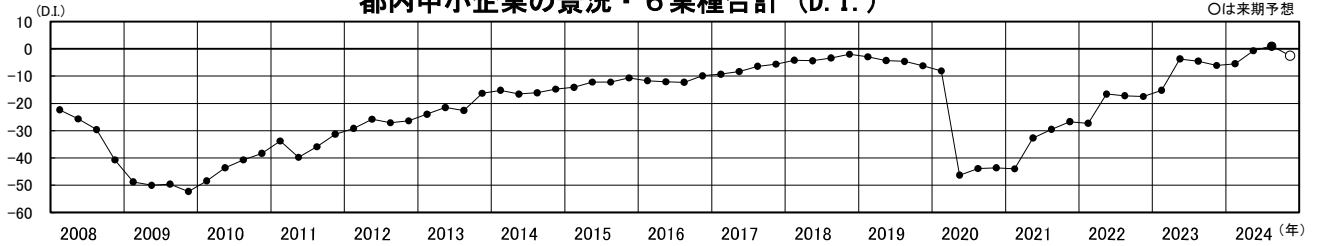
業種別 定点指標値	A 	B 	C 	D 	E 	F 	G 	
製 造 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下	
卸 売 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下	
小 売 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下	
サ ー ビ ス 業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下	
建 設 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下	
不 動 産 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下	
	好調	←			普通	→		不調

# 都内中小企業の景況（令和6年7月～9月）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

## 業況は前期同様変化なく推移した

都内中小企業の景況・6業種合計（D.I.）



今期の6業種合計の業況判断D.I.は、 $\Delta 2.6$ （前期 $\Delta 0.7$ ）と前期並に変化なく推移した。

業種別で見ると、サービス業は悪化に転じ、建設業、不動産業は好調感が後退した。製造業、卸売業、小売業は前期同様の厳しさが続いた。

来期は、製造業において水面下ながらやや改善が見られ、サービス業はわずかに好転すると見ている。一方、卸売業、小売業、建設業、不動産業は今期同様変化なく推移すると見ている。

	前期	今期	前期との増減	来期予想	今期との増減
製造業	-5.9	-7.0	-1.1	-4.1	2.9
卸売業	-6.6	-4.7	1.9	-4.4	0.3
小売業	-9.7	-10.6	-0.9	-9.1	1.5
サービス業	1.6	-1.2	-2.8	0.3	1.5
建設業	15.7	12.0	-3.7	10.9	-1.1
不動産業	12.8	7.1	-5.7	6.6	-0.5
総合	-0.7	-2.6	-1.9	-1.3	1.3

※前期（2024年4～6月） 来期（2024年10月～12月）

### <製造業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・受注残はわずかに水面化に落込み、収益は前期並の減少が続いた。業種別では、ゴム製品、建設用金属が大幅に持ち直したものの、木材・家具においては大きく悪化を強めた。価格面では販売価格、原材料価格ともに前期並の上昇が続いた。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「原材料高」（39%）、「売上上の停滞・減少」（36%）、「人手不足」（17%）が上位を占めた。重点経営施策も前期同様に「販路を広げる」（54%）、「経費を節減する」（44%）、「人材を確保する」（19%）と続いている。

来期の業況は水面下ながらやや改善すると予想しており、売上額・受注残はわずかに好転し、収益は前期並の減少が続くと見ている。価格面では販売価格・原材料価格ともに着着きを見せると予想している。

### <卸売業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は前期並の増加が続き、収益は増減なく推移した。業種別に見ると鉱物・金属材料が非常に大きく改善したものの、繊維・衣類においてはやや悪化が強まった。価格面では販売価格、仕入価格ともに前期並の上昇が続いた。資金繰りはわずかに苦しさを強め、在庫は前期同様の過剰感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「売上上の停滞・減少」（35%）、「仕入先からの値上げ要請」（25%）、「利幅の縮小」（24%）の順となった。重点経営施策も前期同様に「販路を広げる」（58%）、「経費を節減する」（42%）、「情報力を強化する」（18%）が上位を占めた。

来期の業況は今期同様の厳しさが続くとしており、売上額は前期並の増加で、収益は増減なく推移すると見ている。価格面では販売価格・仕入価格ともにわずかに上昇を弱めると予想している。

### <小売業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は増減なく推移し、収益は前期並の減少が続いた。業種別では飲食店、木材・建築材料が大きく悪化に転じ、カメラ、時計・眼鏡は大きく低迷した。一方、自転車・自動車は大幅に持ち直した。価格面では販売価格、仕入価格ともに前期並の上昇が続いている。

経営上の問題点の上位項目は「売上上の停滞・減少」（32%）、「仕入先からの値上げ要請」（22%）、「同業者間の競争の激化」（19%）となっている。重点経営施策については前期同様に「経費を節減する」（45%）、「品揃えを改善する」（24%）、「宣伝・広告を強化する」（21%）と続いている。

来期の業況は今期同様の厳しさで推移すると予想しており、売上額は増減なく推移し、収益は前期並の減少が続くと見ている。価格面では販売価格、仕入価格ともに着着きを見せると予想している。

### <サービス業>

業況は再び水面下に落込んだ。売上額は大きく増加傾向が後退し、収益は増加から減少に転じた。業種別では娯楽がやや改善したものの、自動車整備・駐車場は大きく悪化に転じた。価格面では料金価格、材料価格ともに前期並の上昇が続いた。

経営上の問題点の上位項目は「人手不足」（30%）、「売上上の停滞・減少」（27%）に続き、3位に「人件費の増加」（25%）が上昇した。重点経営施策は前期同様に「経費を節減する」（43%）、「販路を広げる」（37%）、「人材を確保する」（26%）が上位を占めた。

来期の業況はわずかに改善し、売上額はやや増加幅が拡大し、収益はやや良化すると予想している。価格面では料金価格は前期並の上昇が続き、材料価格はわずかに着着きを見せると予想している。

### <建設業>

業況はやや好調感が後退した。売上額、受注残、収益は前期同様の増加が続き、施工高はわずかに増加幅が縮小した。業種別では職別工事と大企業請負の増勢が大きく後退した。価格面では請負価格は前期並の上昇が続き、材料価格はやや上昇幅が縮小した。資金繰りはわずかに窮屈感が現れ、在庫は適正範囲が保たれている。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「材料価格の上昇」（53%）、「人手不足」（42%）、「売上上の停滞・減少」（18%）が上位を占めた。重点経営施策については「人材を確保する」（43%）、「経費を節減する」（41%）、「販路を広げる」（35%）の順となった。

来期の業況は今期並の好調感が続くとしており、売上額は前期同様の増加が続き、受注残、施工高、収益はやや増加傾向を一服させると見ている。価格面では請負価格、材料価格ともにわずかに上昇を弱めると予想している。

### <不動産業>

前期好感を強めた業況は増勢が一服した。売上額は前期同様の増加が続き、収益はやや伸び悩んだ。業種別では建売・土地売買、不動産代理・仲介ともに好調感が後退した。価格面では販売価格は、仕入価格ともに前期並の上昇が続き、資金繰りはわずかに容易さが縮小し、在庫は前期並の不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は「商品物件の高騰」（32%）、2位に「商品物件の不足」（26%）が上昇し、3位に「同業者間の競争の激化」（25%）と続き、2位と3位が入れ替わった。重点経営施策は前期同様に「情報力を強化する」（38%）、「販路を広げる」（27%）、「経費を節減する」（26%）の順となった。

来期の業況は今期同様の水準で推移すると予想している。売上額、収益においても今期同様の増加が続くと見ている。価格面では販売価格、仕入価格ともにやや上昇幅が縮小すると予想している。

【注】D.I.（Diffusion Indexの略）

D.I.（デューアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○D.I.（季節調整済）

季節調整済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD.I.を過去5年間間で遡って季節的な変動を除去して加工したD.I.値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

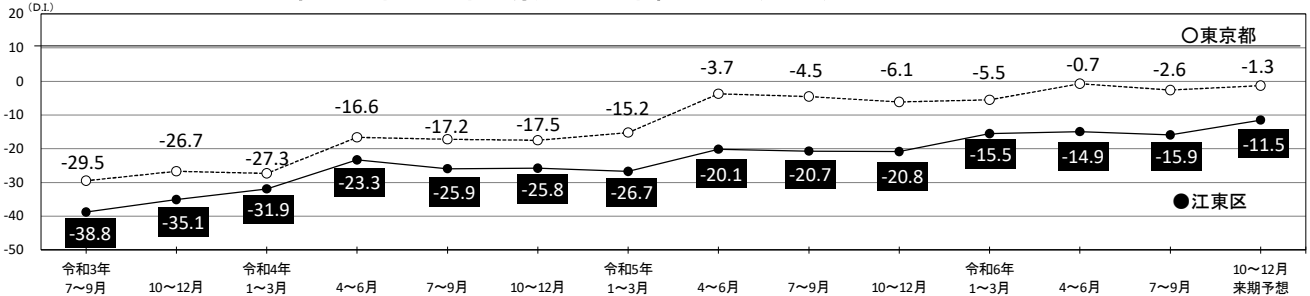
# 江東区内中小企業の景況（令和6年7月～9月）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

**業況（△14.9→△15.9）は前期並の悪化幅で推移した。**

～小売業で4.9ポイント、製造業で1.7ポイント改善したが、サービス業で13.5ポイント大幅に悪化～

江東区内中小企業の景況・4業種合計（D.I.） ※全都是6業種合計



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-15.9（前期は-14.9）と前期並の悪化幅で推移した。業種別に見ると、小売業で4.9ポイント持ち直し、製造業でも1.7ポイント改善したが、サービス業で13.5ポイント大幅に悪化を強めた。卸売業は前期同様の水準で推移した。

来期の業況判断DIは、悪化幅が多少縮小すると予想している。業種別に見ると、卸売業で増勢が大きく強まるのをはじめ、他の3業種すべてで改善すると見込んでいる。

	前期	今期	前期との増減	来期予想	今期との増減
製造業	-16.9	-15.2	1.7	-12.6	2.6
卸売業	9.1	9.0	-0.1	18.7	9.7
小売業	-28.8	-23.9	4.9	-18.8	5.1
サービス業	-10.9	-24.4	-13.5	-21.9	2.5
総合	-14.9	-15.9	-1.0	-11.5	4.4

※前期（2024年4～6月） 来期（2024年10月～12月）  
※「総合」は上記の4業種でのD.I.値

## ＜製造業＞

業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額と受注残は減少を強め、収益は前期並の減少・減益幅で推移した。価格面では、販売価格と原材料価格は前期同様の上昇が続いた。原材料在庫は不足感が緩和され適正水準となった。

来期の業況は悪化幅が若干縮小すると予想している。売上額と受注残は多少改善するが、収益は今期並の減少・減益幅で推移すると見込まれている。販売価格はわずかに上昇を強め、原材料価格は今期並の上昇幅で推移すると予想している。

## ＜卸売業＞

業況は前期同様の好調感が続いた。売上額は堅調に推移したが、収益は減少幅が若干拡大した。価格面では、販売価格は上昇傾向をさらに強め、仕入価格は厳しい状況に変わりないものの上昇幅がわずかに縮小した。在庫数量は前期に続いて適正水準が保たれた。

来期の業況は好調感が大幅に増すと予想している。売上額は増加傾向を大きく強め、収益も水面下を脱し増益に大きく転じると見込んでいる。販売価格はわずかに上昇が弱まり、仕入価格は厳しい状況は続くものの上昇傾向が大幅に弱まると予想している。

## ＜小売業＞

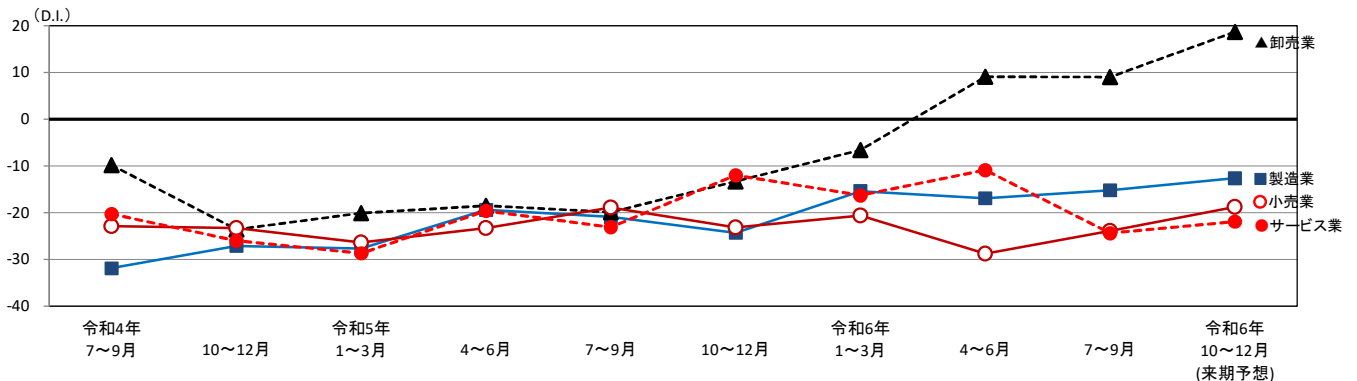
業況はかなり持ち直し、売上額と収益も減少・減益傾向が大幅に弱まった。価格面では、販売価格は前期同様の上昇水準が続き、仕入価格はかなり上昇傾向が強まった。在庫数量は品薄感が緩和され適正水準となった。

来期の業況は今期に引続いて持ち直しと見込んでおり、売上額と収益も減少・減益幅が若干縮小すると予想している。販売価格と仕入価格はともに上昇傾向が幾分弱まると見込まれている。

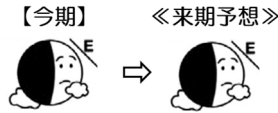
## ＜サービス業＞

業況は悪化傾向が大幅に強まり、売上額と収益も減少・減益幅がかなり拡大した。価格面では、料金価格は上昇がやや弱まり、材料価格は前期並の上昇幅で推移した。

来期の業況は悪化傾向が若干弱まると見込まれている。売上額と収益は前期並の減少・減益幅で推移すると予想している。また、料金価格は上昇が一服し、材料価格は今期並の上昇幅で推移すると見込まれている。



# 製造業



スポット君判断表						
A	B	C	D	E	F	G
大きく上昇	上 昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下 降	大きく下降

## 売上額・受注残・収益の動向と業況判断

業況は前期△16.9 から今期△15.2 と前期並の悪化幅で推移した。売上額（前期△7.2 から今期△10.1）と受注残（前期△4.1 から今期△6.6）は減少を強め、収益（前期△4.5 から今期△6.3）は前期並の減少・減益幅で推移した。

## 価格・在庫動向

販売価格（前期 10.4 から今期 9.0）と原材料価格（前期 29.7 から今期 28.5）は前期同様の上昇が続いた。原材料在庫は前期△3.9 から今期△1.5 と不足感が緩和され適正水準となった。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰り（前期△9.6 から今期△10.4）と借入難易度（前期△11.0 から今期△9.6）は前期並の窮屈感が続いた。今期借入をした・または予定ありの企業は 13.5%で、前期の 15.2%より 1.7 ポイント減少し、設備投資を実施した・または予定ありの企業は 8.7%で、前期の 9.6%より 0.9 ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

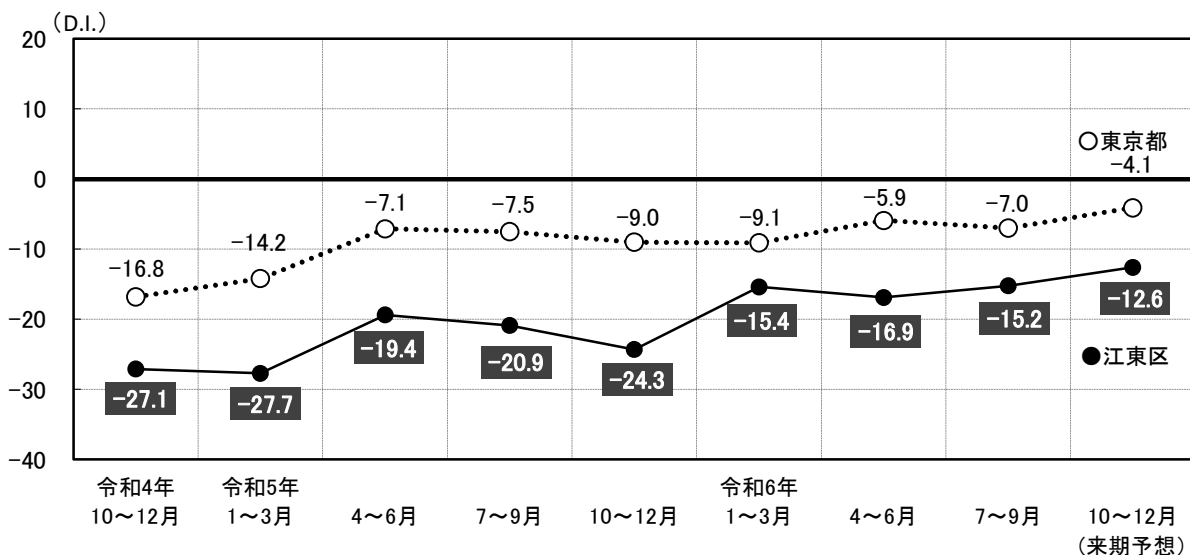
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」が28.8%で今期も最多となり、次いで「原材料高」が26.0%、「同業者間の競争の激化」が17.3%で続いた。

重点経営施策は、「販路を広げる」が38.5%で今期は最多となり、次いで「経費を節減する」が37.5%、「人材を確保する」が14.4%となっている。

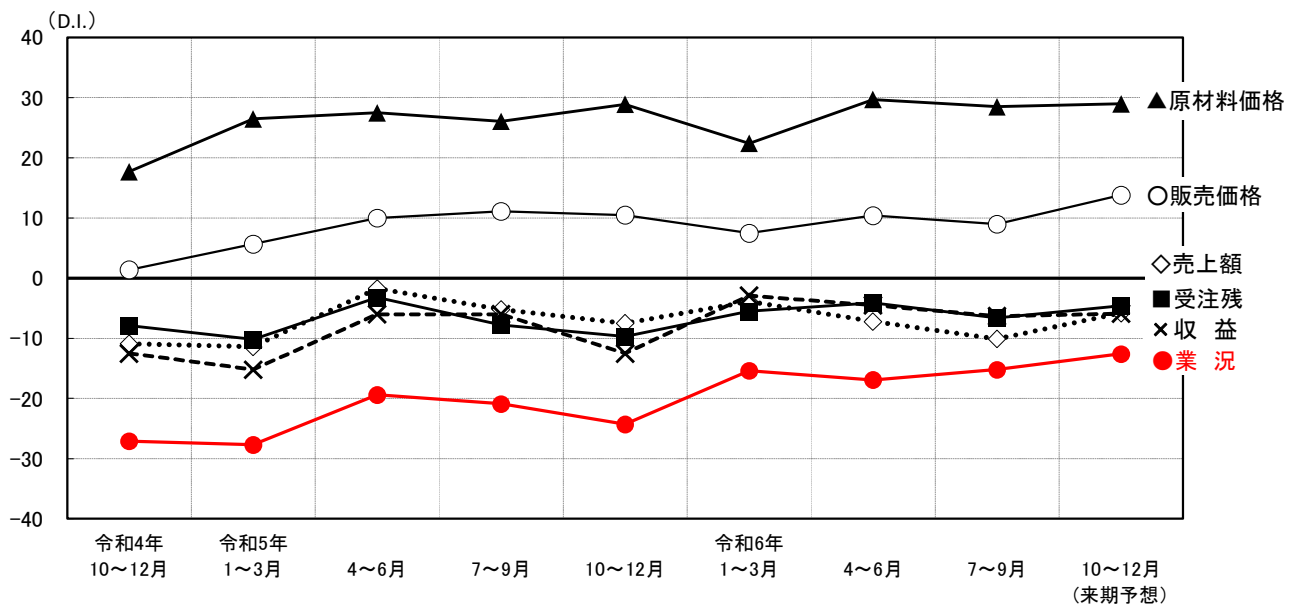
## 来期の見通し

来期の見通しは、業況（△12.6予想）は悪化幅が若干縮小すると予想している。売上額（△5.8予想）と受注残（△4.6予想）は多少改善するが、収益（△5.9予想）は今期並の減少・減益幅で推移すると見込まれている。販売価格（13.8予想）はわずかに上昇を強め、原材料価格（29.0予想）は今期並の上昇幅で推移すると予想している。

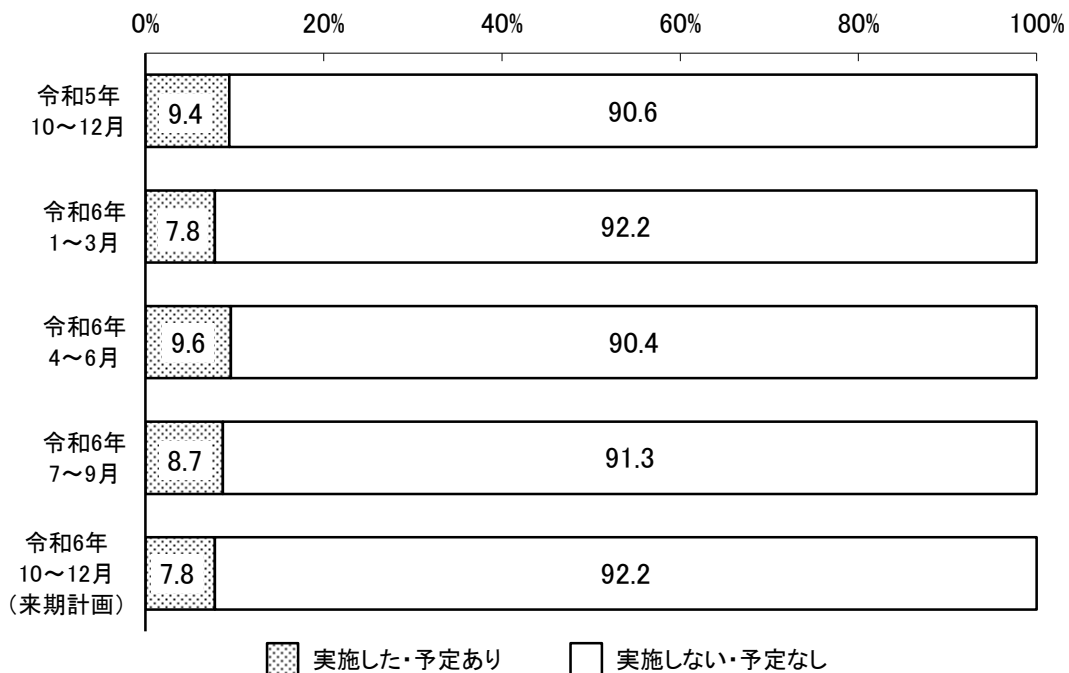
## 江東区と全部の製造業・業況の動き（実績）と来期の予測



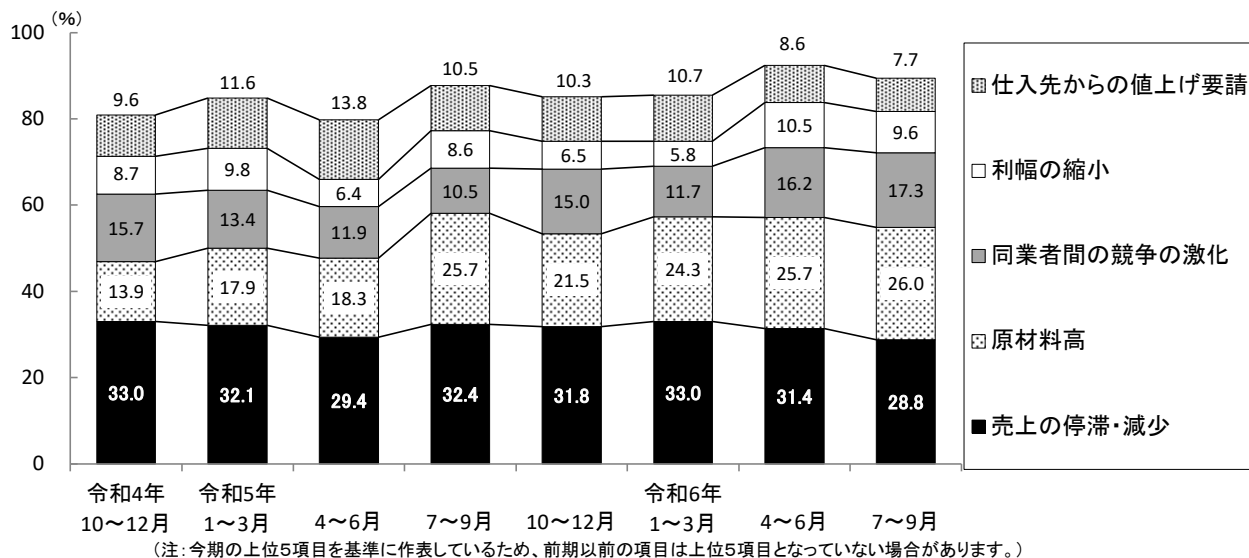
【製造業】業況と売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



【製造業】設備投資動向

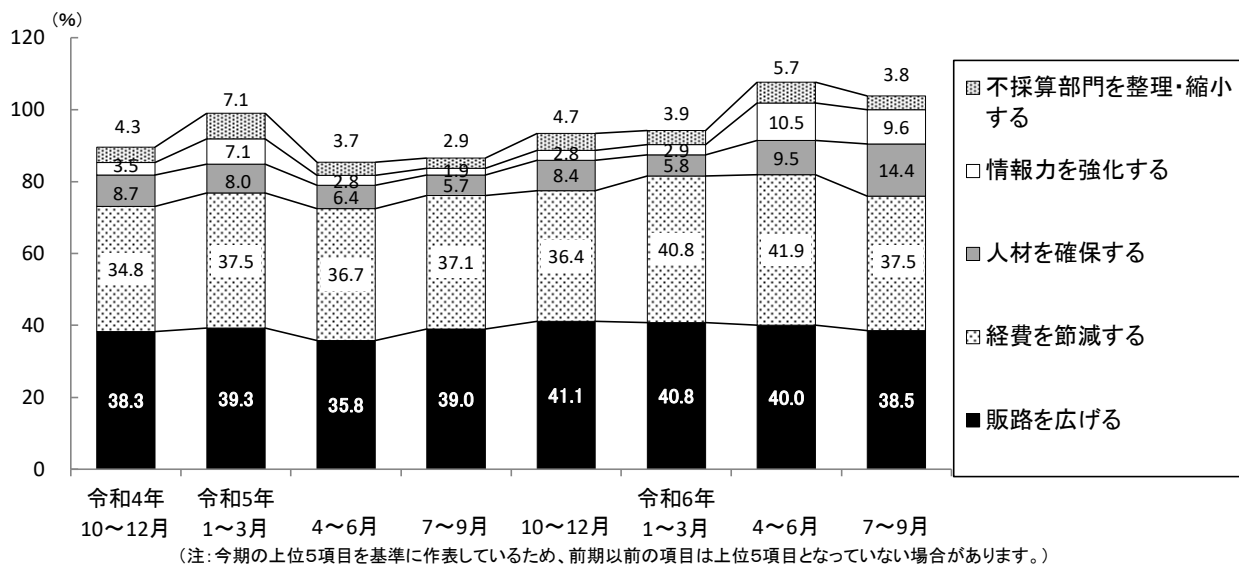


## 【製造業】 経営上の問題点（％）



令和5年10～12月期		令和6年1～3月期		令和6年4～6月期		令和6年7～9月期	
売上の停滞・減少	31.8%	売上の停滞・減少	33.0%	売上の停滞・減少	31.4%	売上の停滞・減少	28.8%
原材料高	21.5%	原材料高	24.3%	原材料高	25.7%	原材料高	26.0%
同業者間の競争の激化	15.0%	同業者間の競争の激化	11.7%	同業者間の競争の激化	16.2%	同業者間の競争の激化	17.3%
仕入先からの値上げ要請	10.3%	仕入先からの値上げ要請	10.7%	利幅の縮小	10.5%	利幅の縮小	9.6%
人手不足		人手不足 工場・機械の狭小・老朽化	6.8%	仕入先からの値上げ要請 人手不足	8.6%	仕入先からの値上げ要請 人手不足	7.7%

## 【製造業】 重点経営施策（％）



令和5年10～12月期		令和6年1～3月期		令和6年4～6月期		令和6年7～9月期	
販路を広げる	41.1%	販路を広げる	40.8%	経費を節減する	41.9%	販路を広げる	38.5%
経費を節減する	36.4%	経費を節減する		40.0%	経費を節減する	37.5%	
人材を確保する	8.4%	人材を確保する	5.8%	情報力を強化する	10.5%	人材を確保する	14.4%
機械化を推進する	5.6%	機械化を推進する	4.9%	人材を確保する	9.5%	情報力を強化する	9.6%
不採算部門を整理・縮小する	4.7%	不採算部門を整理・縮小する	3.9%	不採算部門を整理・縮小する	5.7%	不採算部門を整理・縮小する 機械化を推進する	38.0%



## 製造業 業種別動向

### ■ 繊維工業、衣服、その他繊維製品

業況(前期 $\Delta 43.2$ →今期 $\Delta 100.0$ )は業況感が極端に落込み、売上額(10.4→ $\Delta 48.7$ )と収益(10.4→ $\Delta 48.7$ )も減少・減益傾向を極端に強めた。販売価格(14.5→ $\Delta 46.7$ )は極端に下降し厳しい状況となったが、原材料価格(13.1→ $\Delta 41.5$ )も極端に上昇し良好な状況に転じた。原材料在庫(14.5→ $\Delta 46.7$ )は不足から過剰に大きく転じ、資金繰り(12.5→ $\Delta 46.7$ )は極端に厳しい状況に転じた。

### ■ 木材、木製品

業況(前期 $\Delta 71.9$ →今期 $\Delta 61.9$ )は厳しい状況が続いているものの多少持ち直した。売上額( $\Delta 74.4$ → $\Delta 58.2$ )と収益( $\Delta 74.2$ → $\Delta 55.6$ )も厳しさがかなり和らいだ。販売価格( $\Delta 50.6$ → $\Delta 28.7$ )は下降が大幅に弱まったが、原材料価格( $\Delta 11.1$ →19.4)は下降から上昇に極端に転じて厳しい状況となった。原材料在庫( $\Delta 30.2$ →1.0)は極端に不足が解消し適正範囲となった。資金繰り( $\Delta 29.2$ → $\Delta 8.5$ )は窮屈感が大幅に緩和した。

### ■ 出版、印刷、製版、製本業

業況(前期 $\Delta 9.7$ →今期 $\Delta 1.3$ )は改善傾向がさらに大きく強まった。売上額(5.9→ $\Delta 3.8$ )は大幅に後退し減少に転じたが、収益(5.2→7.7)は堅調に推移した。販売価格(18.5→20.6)はわずかに上昇が強まり、原材料価格(26.4→32.7)は大幅に上昇し厳しさが増した。原材料在庫( $\Delta 4.9$ → $\Delta 1.5$ )は不足感が緩和し適正水準となった。資金繰り( $\Delta 12.4$ → $\Delta 15.2$ )は厳しさがやや増した。

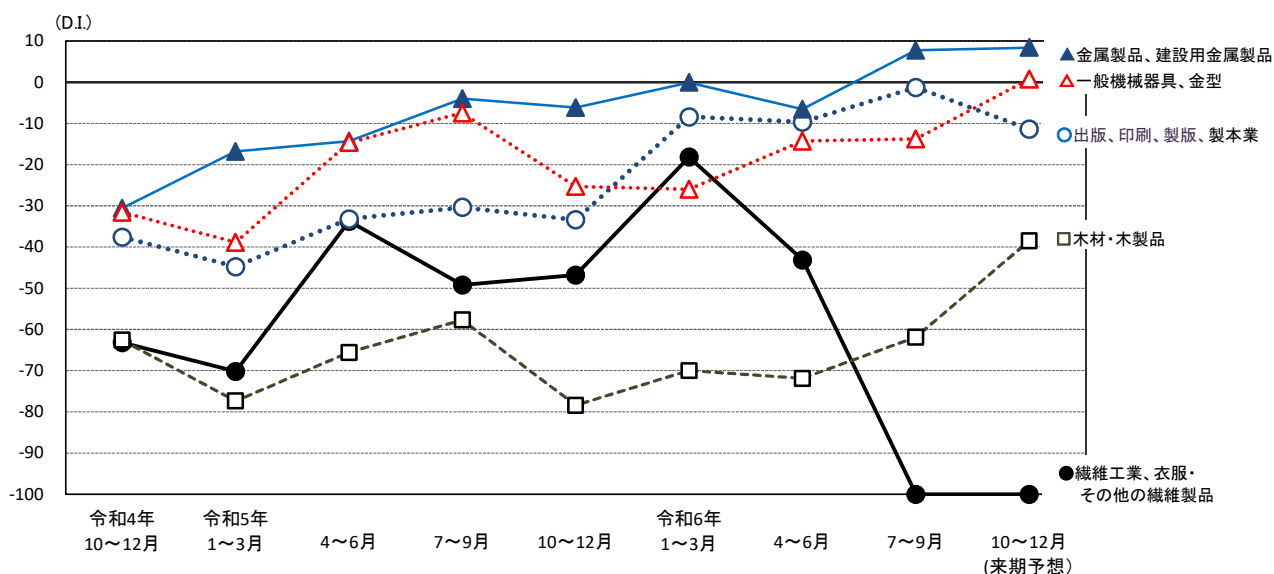
### ■ 金属製品、建設用金属製品

業況(前期 $\Delta 6.6$ →今期7.7)は大きく持ち直しプラスに転じた。売上額( $\Delta 11.6$ →2.2)と収益( $\Delta 4.1$ →4.1)も大幅に改善し増勢に転じた。販売価格(6.3→2.3)は上昇傾向がやや弱まり、原材料価格(41.2→33.9)は厳しさが続くものの上昇がかなり弱まった。原材料在庫( $\Delta 4.3$ →1.7)は不足感が解消し適正範囲となった。資金繰り( $\Delta 2.6$ →4.3)は大きく改善し容易な状況となった。

### ■ 一般機械器具、金型

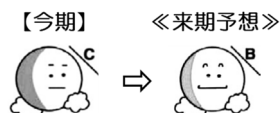
業況(前期 $\Delta 14.3$ →今期 $\Delta 13.8$ )は前期並の悪化幅で推移した。売上額(4.5→6.8)は多少増加傾向を強めたが、収益( $\Delta 6.0$ → $\Delta 15.1$ )は減少・減益幅が大幅に拡大した。販売価格( $\Delta 2.5$ → $\Delta 2.8$ )は横這いで推移し、原材料価格(47.0→41.4)は厳しさが続くものの上昇がかなり弱まった。原材料在庫(0.3→ $\Delta 2.7$ )はわずかに不足感が現れ、資金繰り(0.9→ $\Delta 1.5$ )も窮屈感が現れた。

## 業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測





# 卸 売 業



## 売上・収益の動向と業況判断

業況は前期9.1から今期9.0と前期同様の好調感が続いた。売上額は前期0.8から今期5.9と堅調に推移したが、収益は前期△1.1から今期△5.0と減少幅が若干拡大した。

## 価格・在庫動向

販売価格は前期32.2から今期39.7と上昇傾向をさらに強め、仕入価格は前期48.8から今期46.3と厳しい状況に変わりないものの上昇幅がわずかに縮小した。在庫数量は前期△1.3から今期1.9と前期に続いて適正水準が保たれた。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは前期17.0から今期4.9と容易さが大幅に後退したが、借入難易度は前期4.3から今期14.3と容易さが大きく増した。今期借入をした・または予定ありの企業は25.0%で、前期からの増減はなかった。また、設備投資を実施した・または予定ありの企業は14.3%で、前期の17.4%から3.1%減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

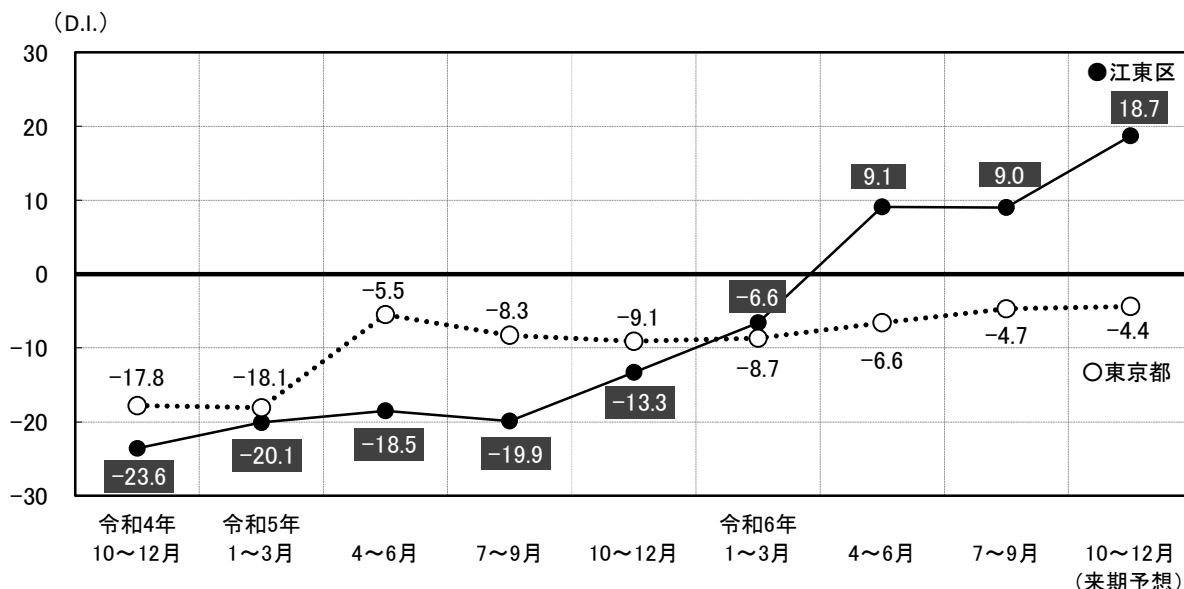
経営上の問題点は、「利幅の縮小」と「売上の停滞・減少」がともに29.2%で今期は最多となり、次いで「仕入先からの値上げ要請」が25.0%と続いた。

重点経営施策は、「販路を広げる」が37.5%で今期も最多となり、次いで「情報力を強化する」、「経費を節減する」(各25.0%)が続いた。

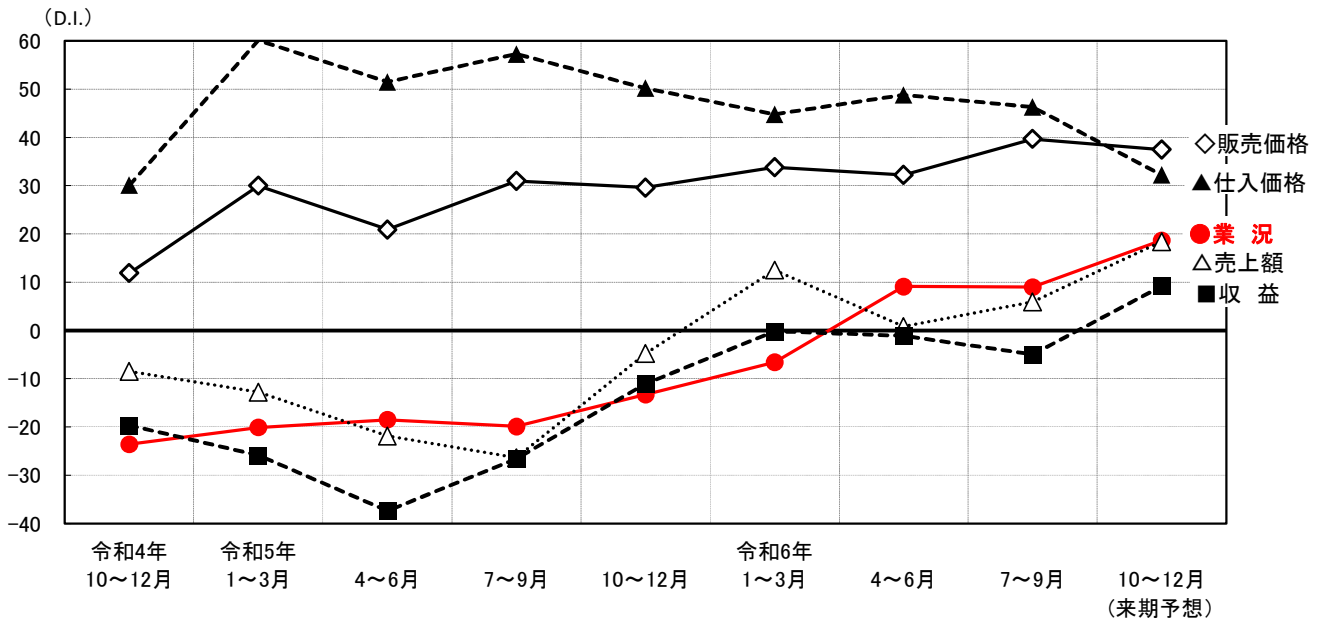
## 来期の見通し

来期の見通しは、業況(18.7予想)は好調感が大幅に増すと予想している。売上額(18.4予想)は増加傾向を大きく強め、収益(9.2予想)も水面下を脱し増益に大きく転じると見込んでいる。販売価格(37.5予想)はわずかに上昇が弱まり、仕入価格(32.2予想)は厳しい状況は続くものの上昇傾向が大幅に弱まると予想している。

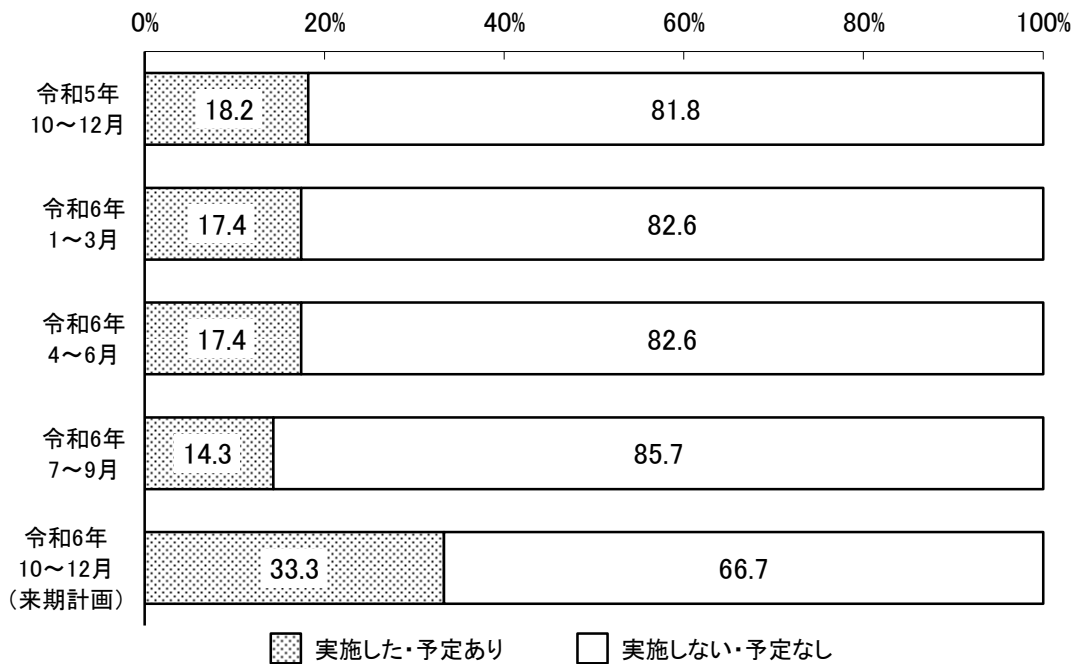
## 江東区と全部の卸売業・業況の動き(実績)と来期の予測



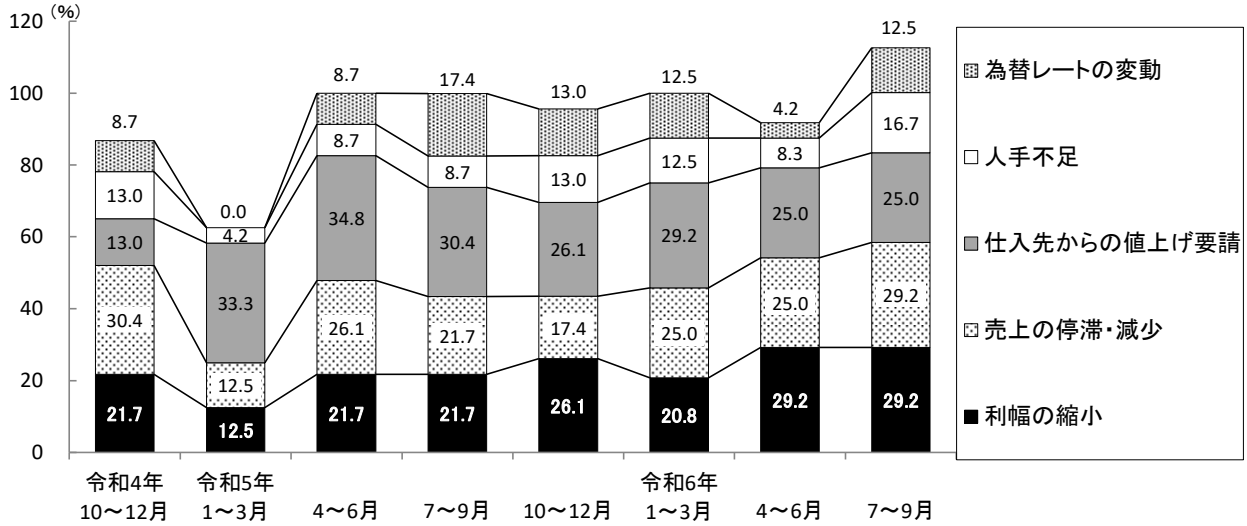
【卸売業】 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



【卸売業】 設備投資動向



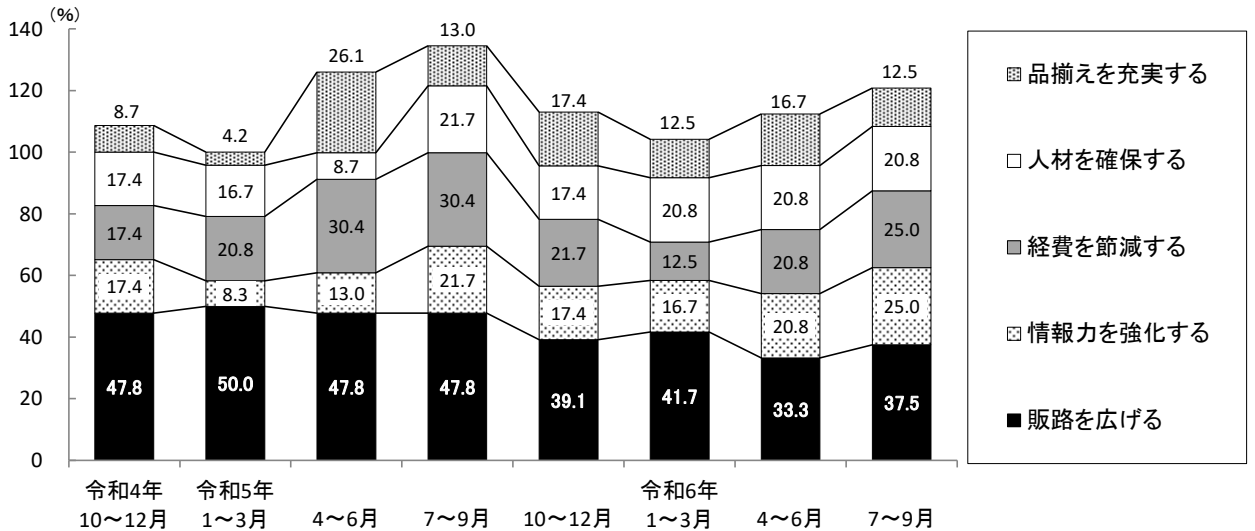
## 【卸売業】 経営上の問題点（％）



（注：今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。）

令和5年10～12月期		令和6年1～3月期		令和6年4～6月期		令和6年7～9月期	
仕入先からの値上げ要請	26.1%	仕入先からの値上げ要請	29.2%	利幅の縮小	29.2%	利幅の縮小	29.2%
利幅の縮小		売上の停滞・減少	25.0%	仕入先からの値上げ要請		25.0%	
売上の停滞・減少	17.4%	利幅の縮小	20.8%	売上の停滞・減少	25.0%	仕入先からの値上げ要請	25.0%
同業者間の競争の激化 為替レートの変動 販売商品の不足 人手不足		13.0%	販売商品の不足	16.7%		8.3%	人手不足
	為替レートの変動		12.5%	為替レートの変動	12.5%		
	人手不足			人手不足の激化／取引先の減少／人件費の増加／輸入品との競争の激化／合理化の不足			

## 【卸売業】 重点経営施策（％）



（注：今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。）

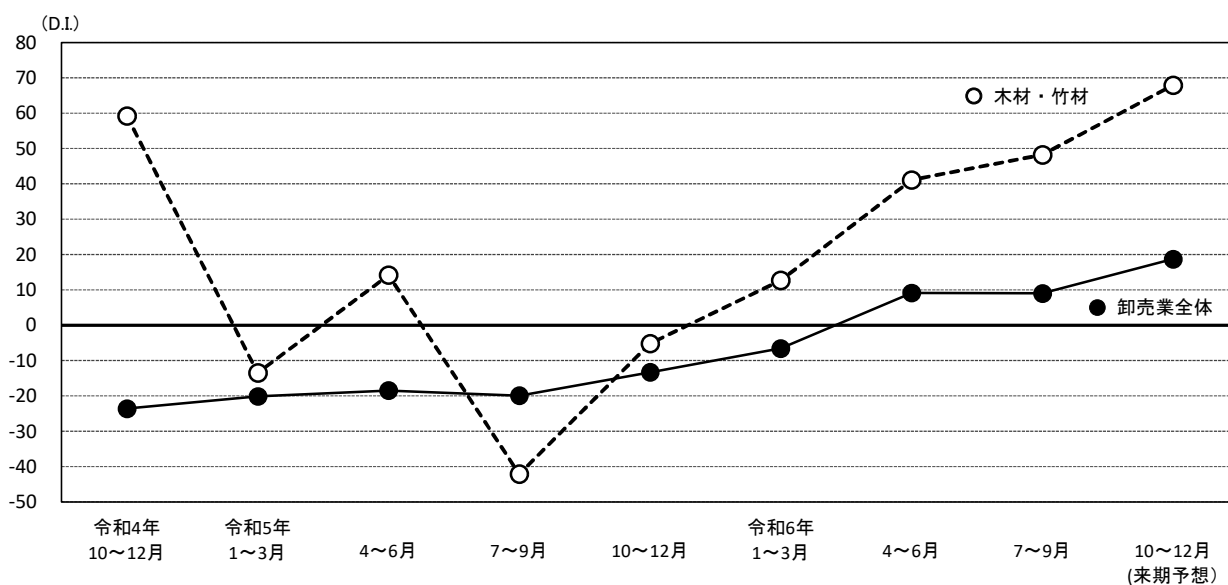
令和5年10～12月期		令和6年1～3月期		令和6年4～6月期		令和6年7～9月期	
販路を広げる	39.1%	販路を広げる	41.7%	販路を広げる	33.3%	販路を広げる	37.5%
経費を節減する	21.7%	人材を確保する	20.8%	人材を確保する	20.8%	情報力を強化する	25.0%
情報力を強化する		情報力を強化する	16.7%	情報力を強化する		20.8%	
人材を確保する	17.4%	経費を節減する	12.5%	経費を節減する	16.7%	人材を確保する	20.8%
品揃えを充実する		品揃えを充実する		12.5%		品揃えを充実する	12.5%

## 卸売業 業種別動向

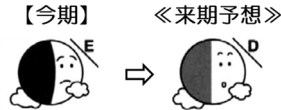
### ■ 木材、竹材

業況（前期41.1→今期48.2）は好調感をさらに強め、売上額（23.3→41.0）も増加幅がかなり拡大し、収益（28.7→32.2）も増加・増益傾向が強まった。価格については、仕入価格（28.8→92.3）の極端な上昇により、販売価格（28.5→65.7）も非常に大きく上昇した。在庫数量（28.5→34.5）は過剰感が大幅に強まった。資金繰り（20.0→30.9）はさらに容易さが増した。

### 業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# 小 売 業



## 売上・収益の動向と業況判断

業況は前期△28.8から今期△23.9とかなり持ち直し、売上額（前期△20.3から今期△9.5）と収益（前期△21.7から今期△12.3）も減少・減益傾向が大幅に弱まった。

## 価格・在庫動向

販売価格(前期20.2から今期20.0)は前期同様の上昇水準が続き、仕入価格(前期34.2から今期41.1)はかなり上昇傾向が強まった。在庫数量は前期△5.9から1.2と品薄感が緩和され適正水準となった。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは前期△10.2から今期△4.1と窮屈感がかなり緩和されたが、借入難易度は前期△9.4から今期△8.8と前期並の厳しさが続いた。今期借入をした・または予定ありの企業は10.8%で、前期の8.3%から2.5ポイントの増加となり、設備投資を実施した・または予定ありの企業は5.4%で、前期の5.7%から0.3ポイントの減少となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

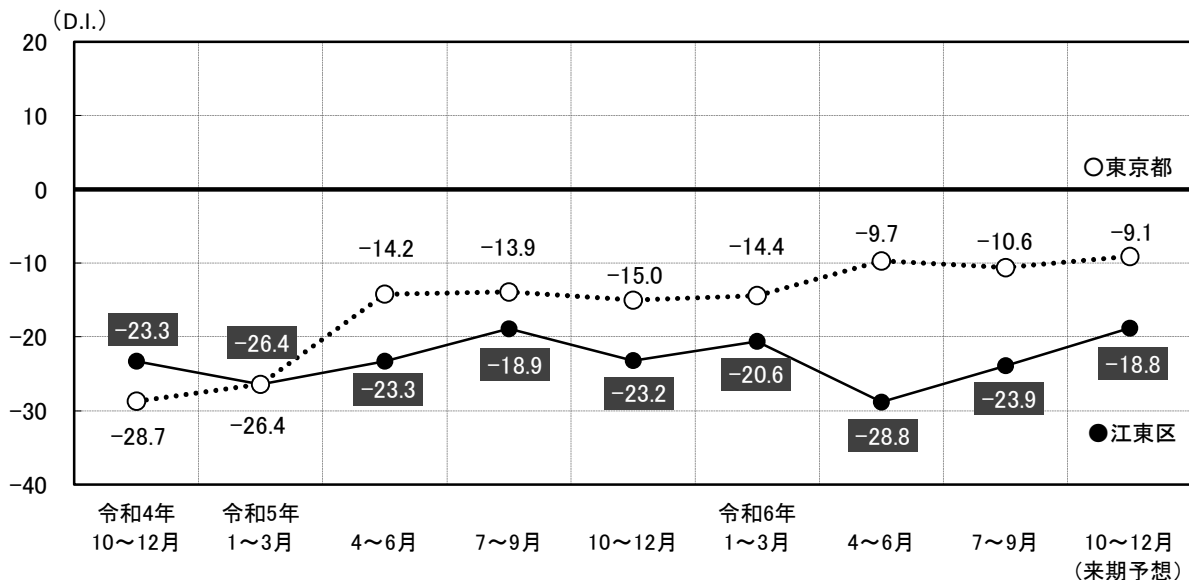
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」が34.2%で今期も最多となり、次いで「仕入先からの値上げ要請」（26.3%）、「同業者間の競争の激化」（15.8%）となった。

重点経営施策は、「経費を節減する」が39.5%で今期も最多となり、次いで「売れ筋商品を取り扱う」（15.8%）、「品揃えを改善する」、「商店街事業を活性化させる」（各13.2%）となった。

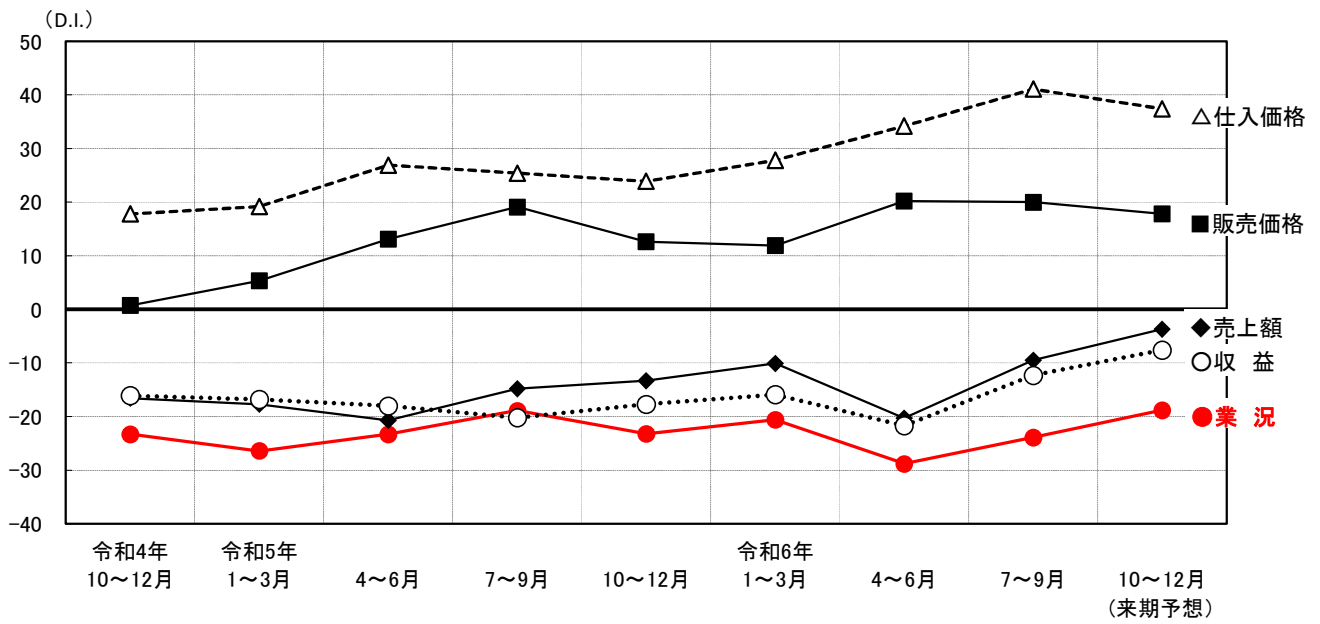
## 来期の見通し

来期の見通しは、業況（△18.8予想）は今期に引続いて持ち直すと見込んでおり、売上額（△3.7予想）と収益（△7.6予想）も減少・減益幅が若干縮小すると予想している。販売価格（17.8予想）と仕入価格（37.4予想）はともに上昇傾向が幾分弱まると見込まれている。

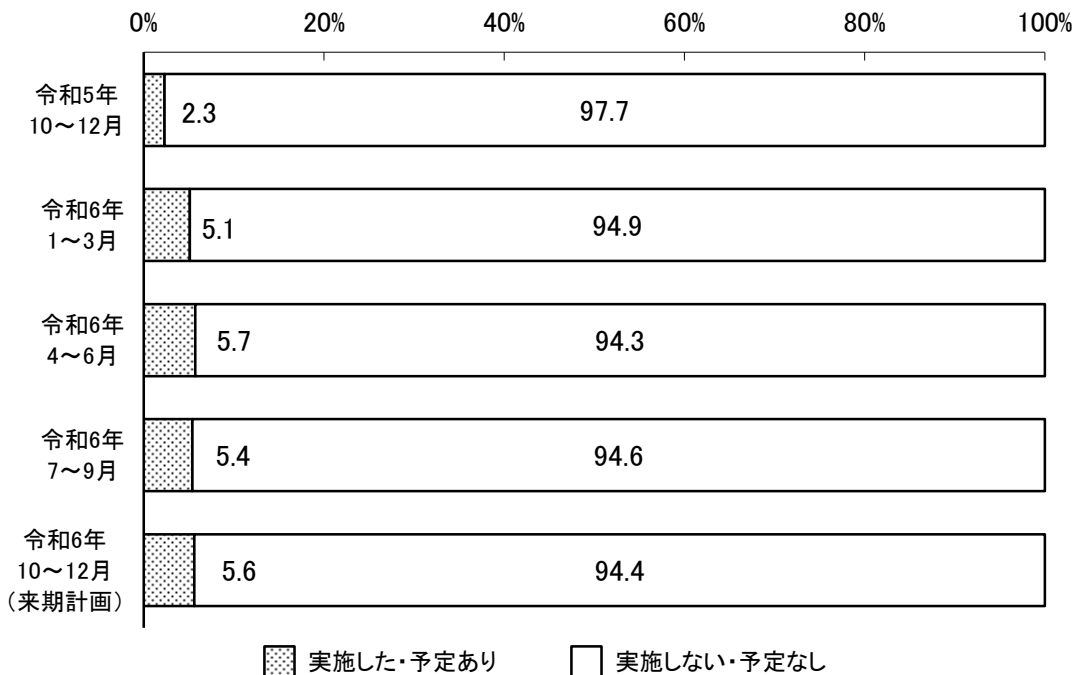
## 江東区と全都の小売業・業況の動き（実績）と来期の予測



## 【小売業】 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

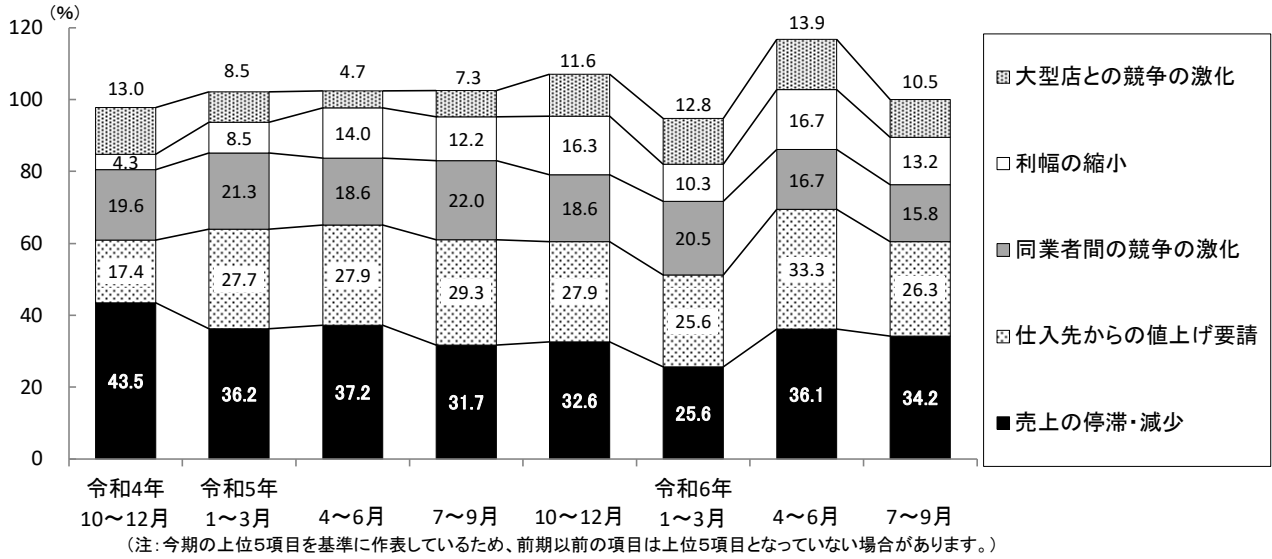


## 【小売業】 設備投資動向



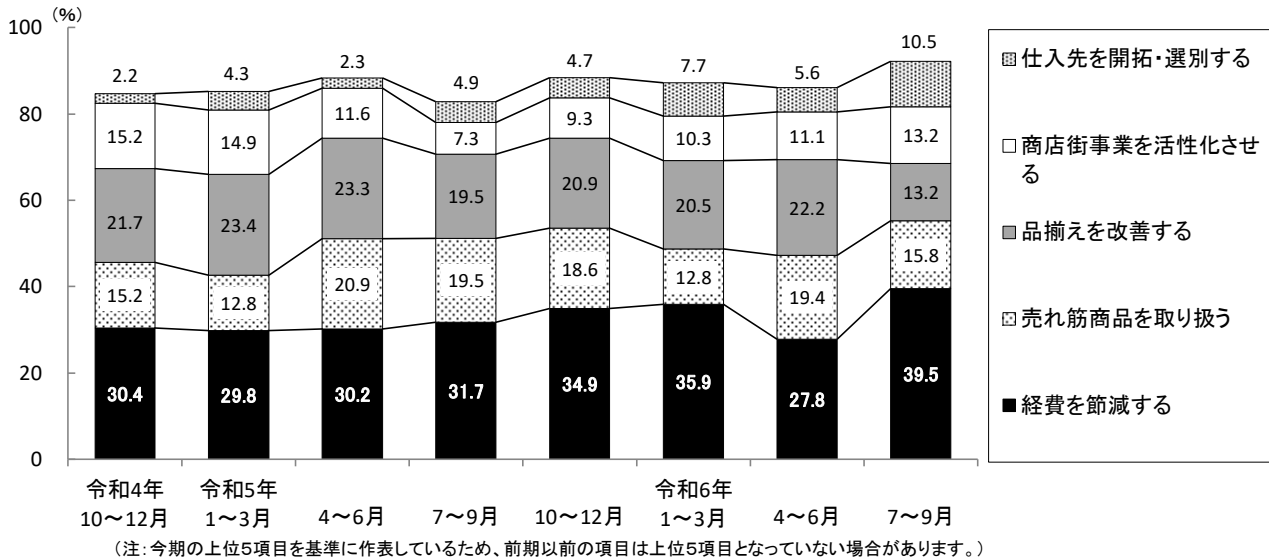


## 【小売業】 経営上の問題点（％）



期	売上の停滞・減少	仕入先からの値上げ要請	同業者間の競争の激化	利幅の縮小	大型店との競争の激化
令和5年10～12月期	32.6%	27.9%	18.6%	16.3%	11.6%
令和6年1～3月期	25.6%	27.9%	20.5%	12.8%	10.3%
令和6年4～6月期	36.1%	33.3%	16.7%	13.2%	13.9%
令和6年7～9月期	34.2%	26.3%	15.8%	13.2%	10.5%

## 【小売業】 重点経営施策（％）



期	経費を節減する	売れ筋商品を取り扱う	品揃えを改善する	商店街事業を活性化させる	仕入先を開拓・選別する
令和5年10～12月期	34.9%	18.6%	20.9%	9.3%	7.0%
令和6年1～3月期	35.9%	12.8%	20.5%	10.3%	7.0%
令和6年4～6月期	27.8%	19.4%	22.2%	16.7%	11.1%
令和6年7～9月期	39.5%	15.8%	13.2%	13.2%	10.5%

## 小売業 業種別動向

### ■ 衣服、呉服、身の回り品

業況（前期△36.0→今期△36.4）は前期同様の厳しい状況が続いた。売上額（△16.9→△14.4）は減少傾向が多少改善したものの、収益（△34.1→△33.2）は前期並の減益幅が続いた。販売価格（23.5→21.1）は上昇がわずかに弱まり、仕入価格（57.3→32.7）は上昇幅が極端に縮小した。在庫数量（△14.2→△5.2）は不足感が大幅に緩和された。資金繰り（△13.3→1.7）は窮屈感を脱し容易な状況となった。

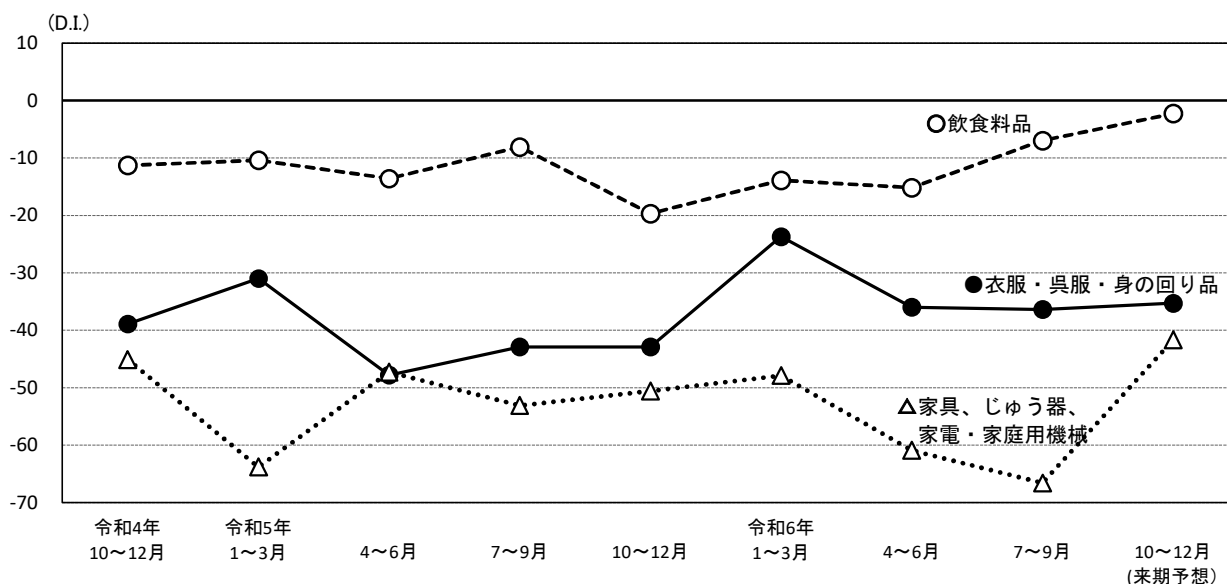
### ■ 飲食料品

業況（前期△15.2→今期△7.0）は水面下ながら大幅に持ち直し、売上額（△15.1→△2.9）と収益（△16.0→△6.8）も減少・減益幅が大幅に縮小した。販売価格（29.9→14.3）は上昇傾向が大幅に弱まり、仕入価格（43.0→39.4）も上昇幅が若干縮小した。在庫数量（△1.0→3.2）はわずかに過剰感が現れた。資金繰り（△12.6→△5.6）は窮屈感がかなり緩和された。

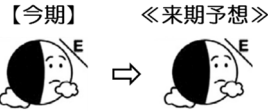
### ■ 家具、じゅう器、家電・家庭用機械

業況（前期△60.9→今期△66.6）はさらに悪化を強め深刻さが増したが、売上額（△39.9→△12.7）と収益（△41.4→△17.2）は減少・減益傾向が大幅に弱まった。販売価格（△4.6→21.8）は下降から上昇に極端に好転したが、仕入価格（△5.2→37.6）も下降から上昇に極端に転じ厳しい状況となった。在庫数量（△18.4→△5.0）は品薄感が大幅に緩和し、資金繰り（△2.0→△2.7）は前期並の水準で推移した。

## 業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# サービス業



## 売上、収益の動向と業況判断

業況は前期△10.9から今期△24.4と悪化傾向が大幅に強まり、売上額（前期△3.3から今期△14.7）と収益（前期△11.1から今期△16.9）も減少・減益幅がかなり拡大した。

## 価格動向

料金価格は前期8.7から今期5.1と上昇がやや弱まり、材料価格は前期36.3から今期34.5と前期並の上昇幅で推移した。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは前期△10.2から今期△10.3と前期同様の窮屈感で推移したが、借入難易度は前期0.0から今期△10.7と厳しい状況となった。今期借入をした・または予定ありの企業は6.3%で、前期の9.4%から3.1ポイントの減少となった。設備投資を実施した・または予定ありの企業は6.3%で、前期からの増減はなかった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

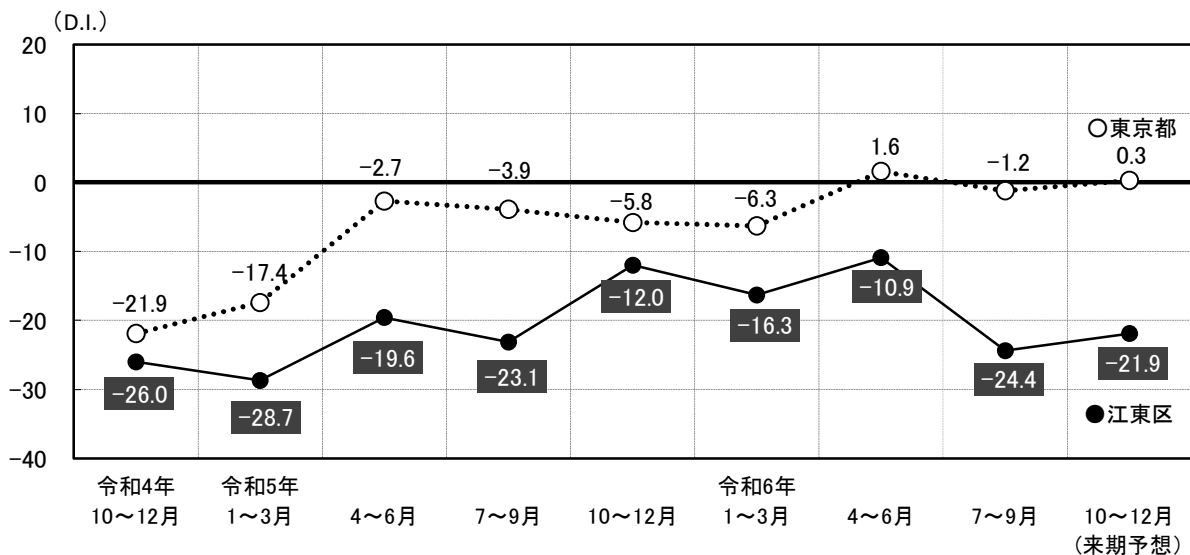
経営上の問題点は、「材料価格の上昇」が37.5%と今期も最多となり、次いで「売上の停滞・減少」、「同業者間の競争の激化」（各31.3%）となった。

重点経営施策は、「経費を節減する」が46.9%で今期も最多となり、次いで「販路を広げる」（21.9%）、「宣伝・広告を強化する」（18.8%）となった。

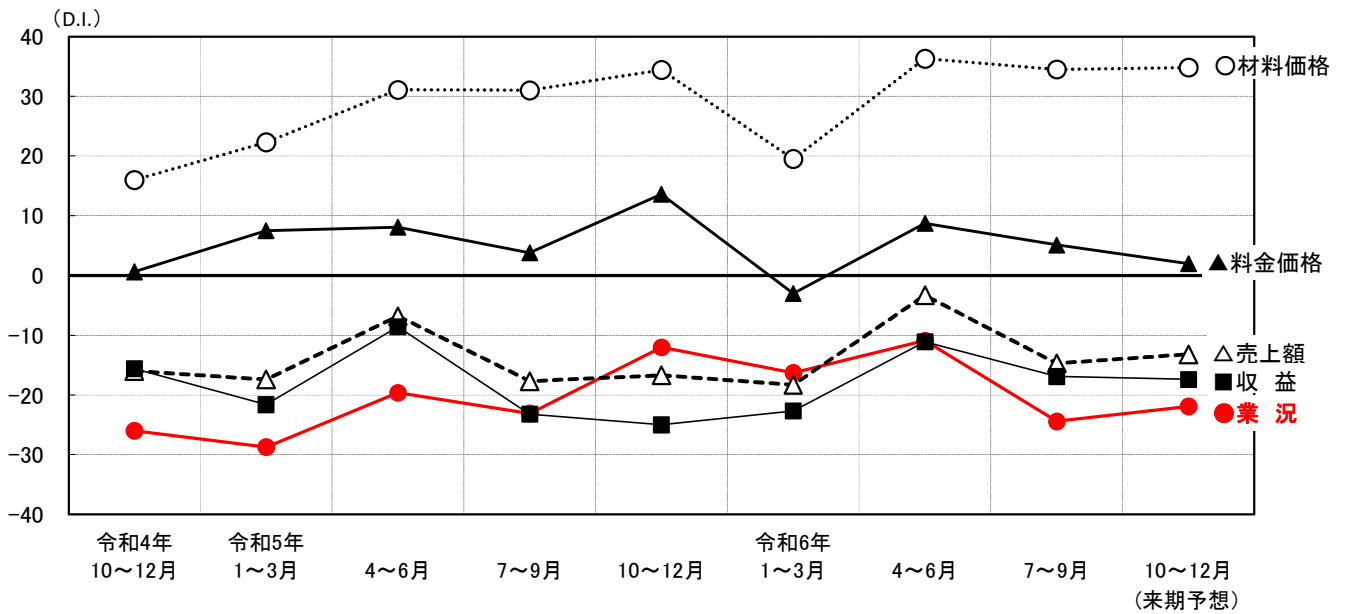
## 来期の見通し

来期の見通しについて、業況（△21.9予想）は悪化傾向が若干弱まると見込まれている。売上額（△13.2予想）と収益（△17.4予想）は前期並の減少・減益幅で推移すると予想している。また、料金価格（2.0予想）は上昇が一服し、材料価格（34.8予想）は今期並の上昇幅で推移すると見込まれている。

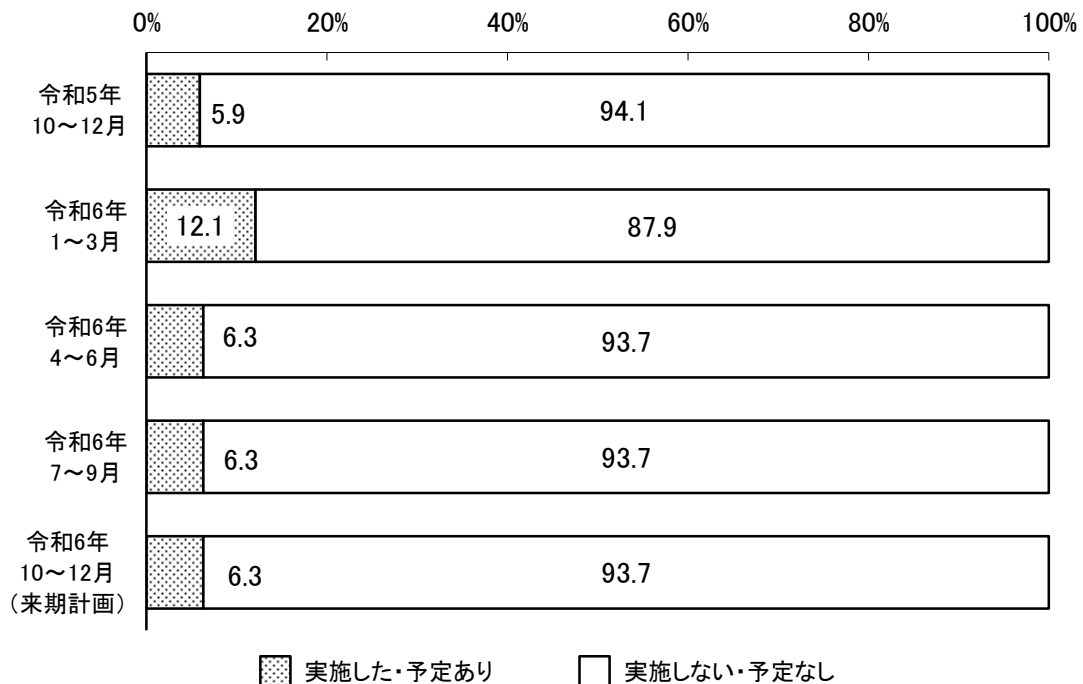
## 江東区と全都のサービス業・業況の動き（実績）と来期の予測



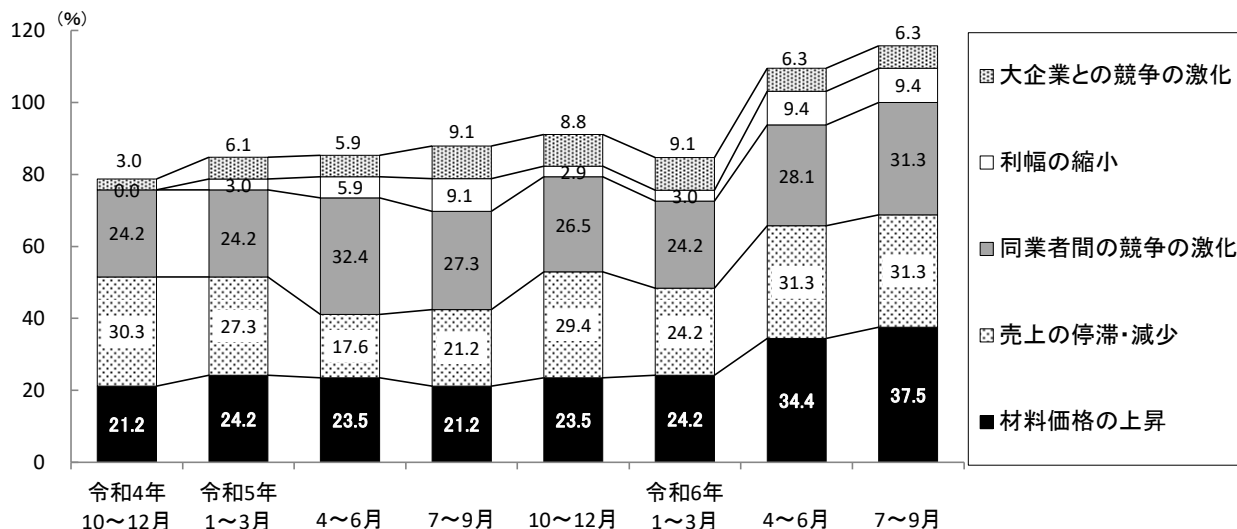
## 【サービス業】業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



## 【サービス業】設備投資動向



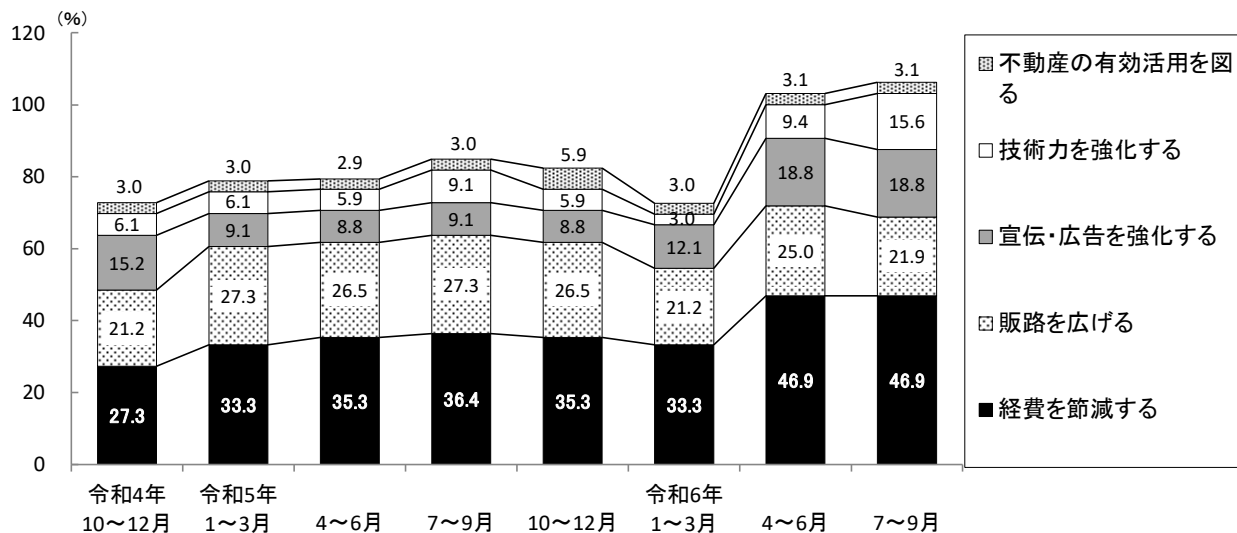
## 【サービス業】 経営上の問題点（％）



（注：今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。）

令和5年10～12月期		令和6年1～3月期		令和6年4～6月期		令和6年7～9月期	
売上の停滞・減少	29.4%	売上の停滞・減少		材料価格の上昇	34.4%	材料価格の上昇	37.5%
同業者間の競争の激化	26.5%	同業者間の競争の激化	24.2%	売上の停滞・減少		売上の停滞・減少	31.3%
材料価格の上昇	23.5%	材料価格の上昇		同業者間の競争の激化	28.1%	同業者間の競争の激化	31.3%
大企業との競争の激化		大企業との競争の激化	9.1%	人手不足		利幅の縮小	9.4%
人手不足		人件費の増加	6.1%	利幅の縮小		大企業との競争の激化	6.3%

## 【サービス業】 重点経営施策（％）



（注：今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。）

令和5年10～12月期		令和6年1～3月期		令和6年4～6月期		令和6年7～9月期	
経費を節減する	35.3%	経費を節減する	33.3%	経費を節減する	46.9%	経費を節減する	46.9%
販路を広げる	26.5%	販路を広げる	21.2%	販路を広げる	25.0%	販路を広げる	21.9%
宣伝・広告を強化する	8.8%	宣伝・広告を強化する	12.1%	宣伝・広告を強化する	18.8%	宣伝・広告を強化する	18.8%
技術力を強化する		技術力を強化する		技術力を強化する	9.4%	技術力を強化する	15.6%
不動産の有効活用を図る	5.9%	不動産の有効活用を図る 人材を確保する 店舗・設備を改装する 提携先を見つける	3.0%	不動産の有効活用を図る 店舗・設備を改装する 提携先を見つける 新しい事業を始める	3.1%	不動産の有効活用を図る 店舗・設備を改装する 提携先を見つける 新しい事業を始める	3.1%

# 日銀短観

## 【調査対象企業数】

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,763社	5,275社	9,038社	99.2%
うち大企業	916社	814社	1,730社	99.1%
中堅企業	1,054社	1,522社	2,576社	99.4%
中小企業	1,793社	2,939社	4,732社	99.2%

<回答期間> 令和6年8月27日～9月30日

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2023年度		2024年度		
		上期	下期	上期	下期	下期
米ドル円 (円/ドル)	2024年6月調査	141.58	139.40	143.76	144.77	144.96
	2024年9月調査	—	—	—	145.15	146.00
ユーロ円 (円/ユーロ)	2024年6月調査	152.06	149.48	154.65	155.40	155.61
	2024年9月調査	—	—	—	157.07	157.79

## 【売上高】

(前年度比・%)

		2023年度		2024年度	
		(計画)	修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	3.4	—	2.7	0.2
	国内	3.7	—	2.2	-0.2
	輸出	2.9	—	3.7	1.1
	非製造業	1.0	—	2.7	0.2
	全産業	2.0	—	2.7	0.2
中堅企業	製造業	2.2	—	3.7	1.0
	非製造業	4.4	—	2.4	0.2
	全産業	3.7	—	2.8	0.4
中小企業	製造業	2.6	—	1.7	0.3
	非製造業	4.4	—	1.0	1.1
	全産業	4.0	—	1.2	0.9
全規模合計	製造業	3.0	—	2.7	0.4
	非製造業	3.0	—	2.1	0.5
	全産業	3.0	—	2.3	0.5

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比。

## 【業況判断】

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2024年6月調査		2024年9月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	13	14	13	0	14	1
非製造業	33	27	34	1	28	-6
全産業	22	20	23	1	21	-2
中堅企業						
製造業	8	7	8	0	9	1
非製造業	22	16	23	1	16	-7
全産業	16	12	16	0	13	-3
中小企業						
製造業	-1	0	0	1	0	0
非製造業	12	8	14	2	11	-3
全産業	7	5	8	1	6	-2
全規模合計						
製造業	5	6	5	0	6	1
非製造業	19	13	20	1	15	-5
全産業	12	10	14	2	11	-3

(注) 判断項目において、「最近」は回答時点、「先行き」は3か月後を示す。「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。

## 【需給・在庫・価格判断】

(%ポイント)

		2024年6月調査		2024年9月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
中小企業	国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)						
	製造業	-20	-19	-20	0	-20	0
	うち素材業種	-24	-24	-24	0	-24	0
	加工業種	-18	-17	-17	1	-17	0
	非製造業	-9	-10	-8	1	-9	-1
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-16	-14	-17	-1	-16	1
	うち素材業種	-21	-21	-23	-2	-23	0
	加工業種	-13	-9	-13	0	-11	2
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	16	17	18	2	17	1
	うち素材業種	17	17	20	3	17	0
	加工業種	16	16	17	1	16	0
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	17	17	18	1	17	0
	うち素材業種	21	21	23	2	21	0
	加工業種	14	14	15	1	14	0
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	30	37	29	-1	32	3
	うち素材業種	35	38	28	-7	29	1
	加工業種	28	36	29	1	35	6
	非製造業	28	33	26	-2	29	3
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	61	62	57	-4	56	-1
	うち素材業種	60	59	49	-11	48	-1
	加工業種	63	64	62	-1	61	-1
	非製造業	55	58	53	-2	55	2

日銀短観は、全国に企業動向を的確に把握し、金融政策の適切な運営に資することを統計上の目的としており、日本銀行金融政策当局が業況等の現状・先行きに関する判断(判断項目)や、事業計画に関する実績・予測(計数項目)など、企業活動全般に関する調査項目について全国の調査対象企業に四半期ごとに実施する統計調査である。サンプル数が多く、回収率も高いことから、数多くある経済指標の中でも注目度の高い統計である。(出典：日本銀行HP)



## 特別調査「中小企業におけるデジタル化とキャッシュレスへの対応について」

注1. 以下に示す割合は区内の中小企業(全6業種=211事業所)の回答を集計したものであるが、業種別の分析については回答企業数の少ない「建設業」(6社)と「不動産業」(8社)は除外して行っています。

注2. 回答割合は小数点第2位を四捨五入して表記しているため、単数回答での割合の合計が100.0%にならないことがあります。

注3. 複数の選択肢を合わせた『(計)』の割合は、各選択肢の合計実数値で再計算しているため、グラフに表記された値の単純合計値とは異なる場合があります。

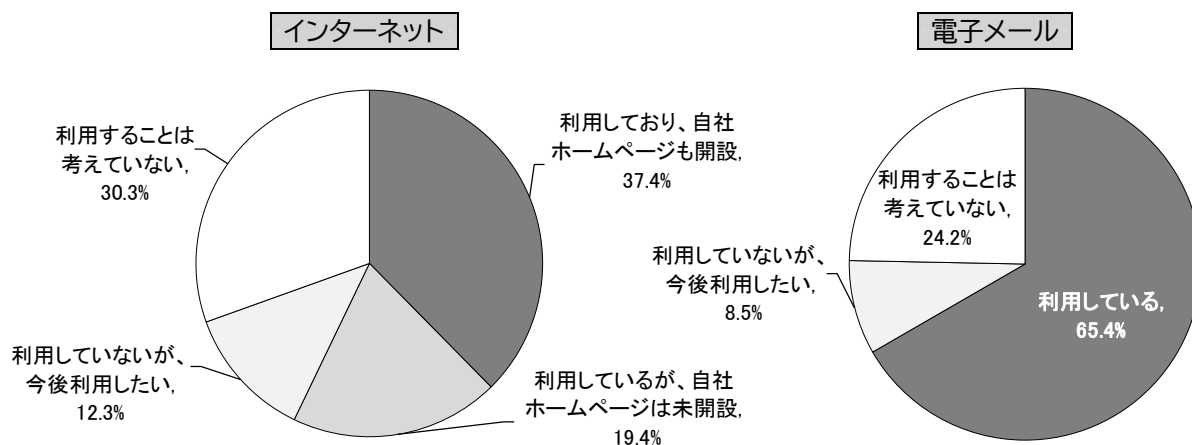
本調査結果の特徴	①インターネットと電子メールの利用状況	【インターネット】 『利用している』 56.9% 『利用していない』 42.7%
		【電子メール】 「利用している」 65.4% 『利用していない』 32.7%
	②インターネットバンキングの契約状況とその理由	【契約している】 ……35.1% ・「夜間や休日でも利用できる」 10.4% ・「金融機関の店舗に行く必要がない」 9.0% 【契約していない】 ……64.9% ・「利用する機会がない」 40.3% ・「金融機関職員が訪問するから不要」 17.1%
	③新紙幣発行に伴う対応と、それを機にしたキャッシュレス支払手段の導入・強化	【新紙幣発行に伴う対応】 ・「対応した」 17.1% ・「対応の必要性を感じているがまだ対応していない」 23.7% 【新紙幣発行を機にキャッシュレス支払手段の導入】 ・「既に導入済みでさらに強化した」 3.3% ・「既に導入済みで強化はしていない」 19.9%
	④取引先や顧客との決済におけるキャッシュレス支払手段の活用状況	・「クレジットカード」 30.5% ・「口座振替(自動引落)サービス」 18.6% ・「活用していない・関係ない」 52.9%
⑤キャッシュレス支払手段を導入した上での不満、または未導入の理由	・「手数料が高い」 18.9% ・「わかる人がいない」 14.6% ・「初期費用が高い」 13.1% ・「不満などはない」 43.2%	

### 問1. インターネットと電子メールの利用状況

事業上の情報収集・情報発信等において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用しているか、また同様に事業上で電子メールを利用しているかについて伺ったところ、インターネットについては、「利用しており、自社ホームページも開設」(37.4%)と「利用しているが、自社ホームページは未開設」(19.4%)を合わせた『利用している』が56.9%で、「利用していないが、今後利用したい」(12.3%)と「利用することは考えていない」(30.3%)を合わせた『利用していない』が42.7%であった。また、電子メールについては、「利用している」が65.4%、「利用することは考えていない」が24.2%、「利用していないが、今後利用したい」が8.5%であった。

業種別に見ると、インターネットを『利用している』は“卸売業”が73.9%で最も多く、次いで“製造業”(60.6%)であった。また、電子メールを「利用している」は“製造業”が76.0%で最も多く、次いで“卸売業”(60.9%)であった。

図表1 インターネットと電子メールの利用状況



※各々のグラフにおける割合の合計は四捨五入によるため、100%にならないことがあります。

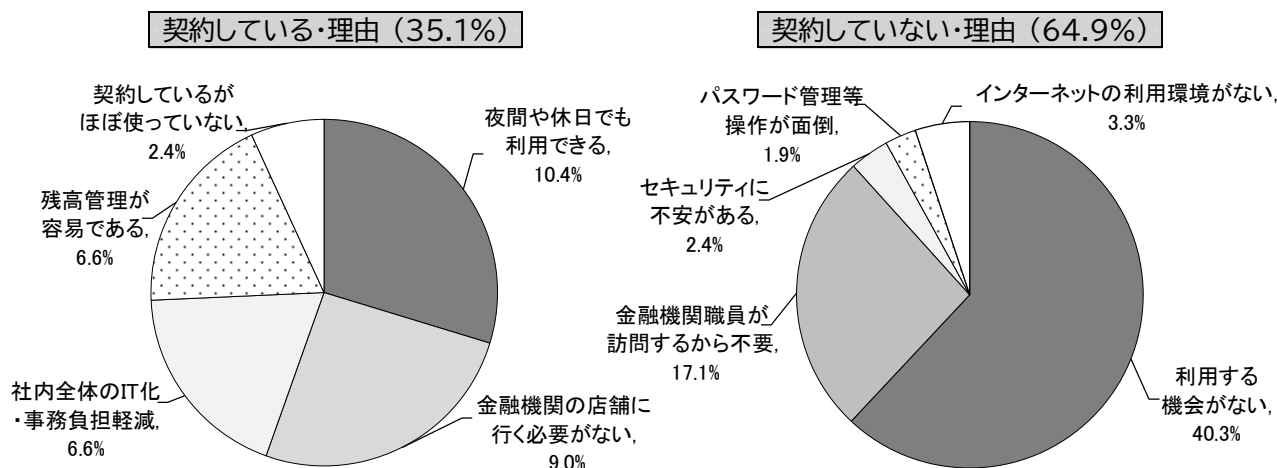
## 問2. インターネットバンキングの契約状況とその理由

次に、インターネットバンキングの契約状況について伺った。その結果、『契約している』の35.1%に対して、『契約していない』が64.9%と上回った。

『契約している』の理由としては、「夜間や休日でも利用できる」が10.4%で最も多く、次いで「金融機関の店舗に行く必要がない」(9.0%)であった。また、『契約していない』の理由としては、「利用する機会がない」が40.3%で最も多く、次いで「金融機関職員が訪問するから不要」(17.1%)であった。

業種別に見ると、『契約している』は“卸売業”が69.6%で最も高い割合であった。また、契約している理由として「金融機関の店舗に行く必要がない」は“卸売業”(26.1%)が最も高く、契約していない理由として「利用する機会がない」は“サービス業”(62.5%)と“小売業”(55.3%)が5割以上と高い割合であった。

図表2 インターネットバンキングの契約状況とその理由



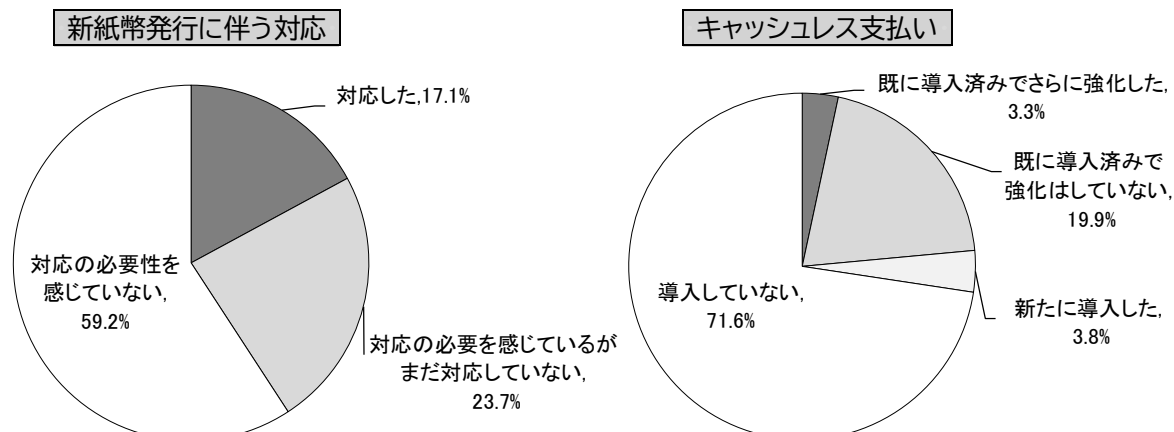
※上記2グラフの各割合の総合計は、四捨五入により100%にならない場合があります。

## 問3. 新紙幣発行に伴う対応と、それを機にしたキャッシュレス支払手段の導入・強化

今年7月に実施された新紙幣の発行に伴って、設備投資など何らかの対応を行ったか、また、新紙幣の発行を機にキャッシュレス支払手段の導入又は強化をしたかについて伺った。その結果、何らかの対応については、「対応の必要性を感じていない」が59.2%と約6割を占めており、「対応した」は17.1%、「対応の必要性を感じているがまだ対応していない」が23.7%であった。また、新紙幣の発行を機にしたキャッシュレス支払手段の導入又は強化をしたかについては、「導入していない」が71.6%と7割超を占め、「既に導入済みで強化はしていない」が19.9%という結果であった。

業種別に見ると、何らかの対応については、「対応した」は“小売業”(34.2%)が最も高い割合であった。逆に「対応の必要性を感じていない」は“製造業”(65.4%)と“卸売業”(65.2%)が6割台と高い割合であった。また、新紙幣の発行を機にしたキャッシュレス支払手段の導入又は強化をしたかについては、『導入済み』は“サービス業”(40.6%)と“卸売業”(39.1%)が他の業種に比べて高い割合であった。

図表3 新紙幣発行に伴う対応と、それを機にしたキャッシュレス支払手段の導入・強化



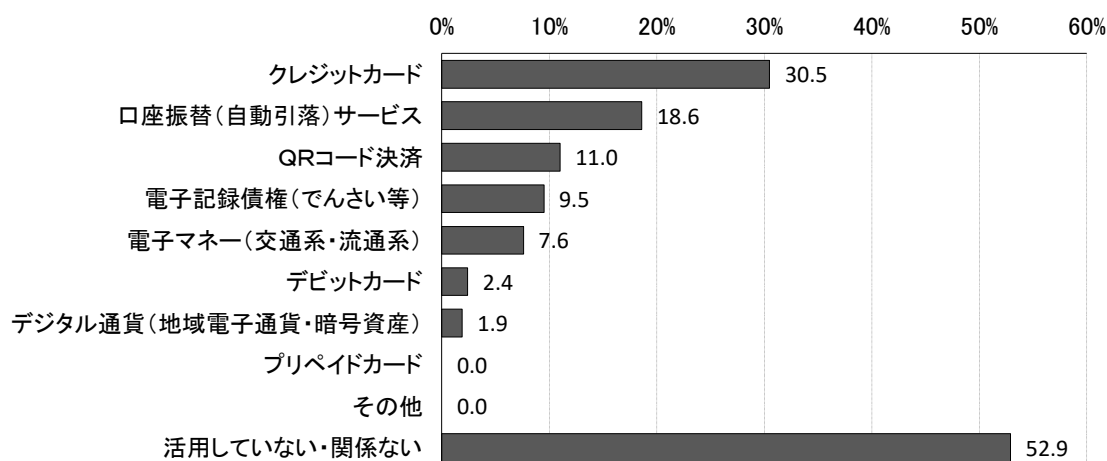
※各々のグラフにおける割合の合計は、四捨五入により100%にならない場合があります。

## 問4. 取引先や顧客との決済におけるキャッシュレス支払手段の活用状況(回答は3つ以内まで)

現在活用しているキャッシュレス支払手段について最大3つまで伺った。その結果、「クレジットカード」が30.5%で最も多く、次いで、「口座振替(自動引落)サービス」(18.6%)、「QRコード決済」(11.0%)、「電子記録債権(でんさい等)」(9.5%)、「電子マネー(交通系・流通系)」(7.6%)などであった。一方、「活用していない・関係ない」は52.9%と過半数を占めた。

業種別で見ると、「クレジットカード」は“サービス業”(43.8%)と“小売業”(42.1%)が4割台と高く、「口座振替(自動引落)サービス」は“卸売業”が34.8%で最も高い割合であった。また、「電子記録債権(でんさい等)」は“卸売業”が39.1%と他の業種に比べて特に高い割合であった。一方、「活用していない・関係ない」はほとんどの業種で5割以上となっているなか、“卸売業”のみ30.4%と低い割合であった。

図表4 取引先や顧客との決済におけるキャッシュレス支払手段の活用状況

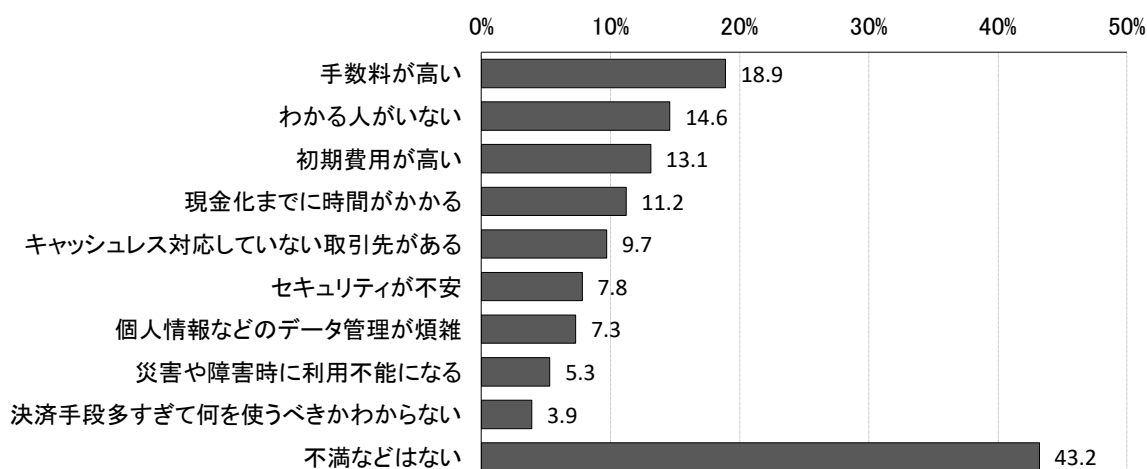


## 問5. キャッシュレス支払手段を導入した上での不満、または未導入の理由(回答は3つ以内まで)

最後に、キャッシュレス支払手段を導入した企業には導入したうえで不満を、また、キャッシュレス支払手段を導入していない企業には導入していない理由をそれぞれ最大3つまで伺った。その結果、「手数料が高い」が18.9%で最も多く、次いで、「わかる人がいない」(14.6%)、「初期費用が高い」(13.1%)、「現金化までに時間がかかる」(11.2%)などであった。一方、「不満などはない」は43.2%であった。

業種別で見ると、先述した上位4項目はすべて“小売業”が最も高い割合であった。また、「キャッシュレス対応していない取引先がある」は“卸売業”(26.1%)が他の業種に比べて高い割合であった。一方、「不満などはない」は“サービス業”(67.7%)が7割近くと最も高い割合であった。

図表5 キャッシュレス支払手段を導入した上での不満、または未導入の理由



# 中小企業景況調査 比較表

令和6年7月～9月期

## 製造業

### 【今期の景況】

	全体		木材・木製品		繊維工業、衣服・その他繊維製品		一般機械器具、金型		金属製品、建設用金属製品		出版、印刷、製版、製本業		
	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	
業況	-15	-7	-62	-33	-100	-3	-14	-5	8	-7	-1	-17	
売上額	-10	-1	-58	-22	-49	14	7	-2	2	-4	-4	-4	
受注残	-7	-1	-31	-10	-51	2	29	7	4	-4	-2	-4	
収益	-6	-5	-56	-28	-49	3	-15	0	4	-7	8	-3	
販売価格	9	22	-29	26	-47	24	-3	28	2	17	21	19	
原材料価格	29	45	19	50	-42	40	41	51	34	40	33	43	
原材料在庫	-2	3	1	10	-47	4	-3	6	2	2	-2	4	
資金繰り	-10	-8	-9	-19	-47	-6	-2	-11	4	-4	-15	-14	
雇用	残業時間	-1	-1	-25	-13	0	3	0	-3	0	0	11	-1
	人手	-6	-14	0	-16	0	-19	0	-7	0	-11	0	-10
同期比	売上額	-3	4	0	-3	-50	16	0	-1	5	1	11	3
	収益	-6	-5	0	-19	-50	1	-17	-6	0	-5	6	-8
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	29	36	100	42	50	33	-	41	25	38	50	44
	② 原材料高	26	39	50	42	50	31	17	35	20	37	28	35
	③ 同業者間の競争の激化	17	15	-	16	-	19	17	20	10	11	39	25
	④ 利幅の縮小	10	16	25	26	-	15	17	16	5	17	11	19
	⑤ 仕入先からの値上げ要請	8	12	-	23	-	11	17	13	10	10	6	10
重点経営施策	① 販路を広げる	39	54	75	58	-	53	17	53	35	53	56	65
	② 経費を節減する	38	44	75	61	50	40	17	42	25	43	50	49
	③ 人材を確保する	14	19	50	29	-	23	33	17	15	21	11	10
	④ 情報力を強化する	10	11	-	10	-	19	17	14	5	9	6	14
	⑤ 機械化を推進する	4	7	-	10	-	5	-	8	10	12	6	7
借入の難易度	-10	-3	-50	-28	0	-7	17	-7	0	3	-18	-7	

### 【来期の景況見通し】

業況	-13	-4	-39	-14	-100	0	1	-6	8	-4	-11	-14	
売上額	-6	2	-8	-3	-53	4	14	-1	7	1	-5	-4	
受注残	-5	1	-7	-4	-55	-3	17	-1	5	0	-4	-4	
収益	-6	-3	-7	-2	-53	-2	-13	-3	2	-5	4	-6	
販売価格	14	18	-24	22	-49	17	11	23	17	15	23	13	
原材料価格	29	40	22	36	-47	35	41	49	36	36	27	39	
原材料在庫	1	2	2	4	-52	2	-3	3	1	1	1	2	
資金繰り	-4	-8	0	-17	-50	-9	0	-11	4	-3	-3	-12	
雇用	残業時間	-2	0	-25	-10	0	4	0	-3	0	3	6	1
	人手	-5	-14	0	-10	0	-18	0	-9	0	-12	0	-13

\* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D-Iを表示している項目。雇用品、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 中小企業景況調査 比較表

令和6年7月～9月期

## 卸売業

【今期の景況】

	全体		木材、竹材		
	江東区	全都	江東区	全都	
業況	9	-5	48	48	
売上額	6	5	41	41	
収益	-5	-3	32	32	
販売価格	40	33	66	66	
仕入価格	46	49	92	92	
在庫	2	7	35	35	
資金繰り	5	-5	31	31	
雇用	残業時間	4	-1	0	0
	人手	-17	-13	0	0
同期比	売上額	8	7	67	67
	収益	-8	-1	67	67
	販売価格	46	39	67	67
	① 利幅の縮小	29	24	-	-
経営上の問題点	② 売上の停滞・減少	29	35	-	-
	③ 仕入先からの値上げ要請	25	25	67	67
	④ 人手不足	17	15	-	-
	⑤ 為替レートの変動	13	12	33	33
重点経営施策	① 販路を広げる	38	58	-	-
	② 情報力を強化する	25	18	33	33
	③ 経費を節減する	25	42	33	33
	④ 人材を確保する	21	16	-	-
	⑤ 品揃えを充実する	13	13	-	-
借入の難易度	14	-2	0	0	

## 小売業

【今期の景況】

	全体		家具・じゅう器 家電・ 家庭用機械		飲食料品		衣服、呉服、 身の回り品		
	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	
業況	-24	-11	-67	-14	-7	-11	-36	-27	
売上額	-10	0	-13	-6	-3	2	-14	-16	
収益	-12	-8	-17	-13	-7	-7	-33	-24	
販売価格	20	28	22	19	14	35	21	16	
仕入価格	41	44	38	36	39	51	33	35	
在庫	1	0	-5	-2	3	-2	-5	5	
資金繰り	-4	-10	-3	-8	-6	-10	2	-17	
雇用	残業時間	3	0	-3	0	1	0	-4	
	人手	-11	-12	0	-9	-13	-13	0	-9
同期比	売上額	-16	3	-33	-2	0	4	-20	-13
	収益	-24	-8	-33	-11	-13	-7	-40	-18
	販売価格	22	33	17	23	20	40	20	22
	① 売上の停滞・減少	34	32	50	29	31	29	20	40
経営上の問題点	② 仕入先からの値上げ要請	26	22	17	20	19	26	-	13
	③ 同業者間の競争の激化	16	19	17	17	25	18	-	13
	④ 利幅の縮小	13	18	-	13	13	20	40	15
	⑤ 商店街の集客力の低下	11	13	-	12	6	13	20	18
重点経営施策	① 経費を節減する	40	45	33	38	31	47	40	29
	② 売れ筋商品を取り扱う	16	15	-	15	19	15	20	19
	③ 商店街事業を活性化させる	13	12	-	14	6	13	20	14
	④ 品揃えを改善する	13	24	-	19	13	27	20	32
	⑤ 仕入先を開拓・選別する	11	10	17	5	6	11	-	10
借入の難易度	-9	-6	-40	-3	0	-8	0	-13	

【来期の景況見通し】

業況	19	-4	68	68	
売上額	18	5	30	30	
収益	9	-2	32	32	
販売価格	38	28	29	29	
仕入価格	32	43	32	32	
在庫	7	4	35	35	
資金繰り	8	-6	29	29	
雇用	残業時間	0	0	0	0
	人手	-17	-13	0	0

【来期の景況見通し】

業況	-19	-9	-42	-10	-2	-10	-35	-26	
売上額	-4	0	-10	-2	4	0	-17	-14	
収益	-8	-7	-15	-8	-2	-9	-36	-17	
販売価格	18	24	25	14	16	31	24	16	
仕入価格	37	38	38	33	46	43	34	33	
在庫	-2	0	-5	-3	5	-2	-5	7	
資金繰り	-4	-10	-1	-9	-5	-11	0	-14	
雇用	残業時間	-3	0	0	-4	0	1	0	-4
	人手	-8	-12	0	-9	-13	-13	0	-8

\* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り  
 \* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度  
 \* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 中小企業景況調査 比較表

令和6年7月～9月期

## サービス業

### 【今期の景況】

		全 体	
		江東区	全都
業 況		-24	-1
売上額		-15	6
収 益		-17	-2
料金価格		5	22
材料価格		35	40
資金繰り		-10	-7
雇 用	残業時間	0	1
	人 手	-3	-27
同 期 比	売上額	-9	12
	収 益	-19	1
経 営 上 の 問 題 点	① 材料価格の上昇	38	23
	② 同業者間の競争の激化	31	23
	③ 売上の停滞・減少	31	27
	④ 利幅の縮小	9	14
	⑤ 大企業との競争の激化	6	4
重 点 経 営 施 策	① 経費を節減する	47	43
	② 販路を広げる	22	37
	③ 宣伝・広告を強化する	19	18
	④ 技術力を強化する	16	11
	⑤ 不動産の有効活用を図る	3	1
借入の難易度		-11	-5

### 【来期の景況見通し】

業 況		-22	0
売上額		-13	9
収 益		-17	2
料金価格		2	21
材料価格		35	37
資金繰り		-16	-7
雇 用	残業時間	0	2
	人 手	-3	-27

\* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。  
 \* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度  
 \* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策



# 中小企業景況調査 転記表 1

令和6年7月～9月期

## 製造業

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和4年		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		対前期比	6年10-12月期
		10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期			
業況	良い	4.3	8.7	7.1	7.9	8.3	11.1	9.5	10.2	8.6	9.6	11.8	10.7	7.6	10.0	11.5	7.8		7.8
	普通	65.3	60.9	57.2	64.0	63.3	58.3	60.0	68.5	59.0	63.5	60.7	59.2	65.7	66.0	62.5	67.7		70.6
	悪い	30.4	30.4	35.7	28.1	28.4	30.6	30.5	21.3	32.4	26.9	27.5	30.1	26.7	24.0	26.0	24.5		21.6
	D・I	-26.1	-21.7	-28.6	-20.2	-20.1	-19.5	-21.0	-11.1	-23.8	-17.3	-15.7	-19.4	-19.1	-14.0	-14.5	-16.7		-13.8
	修正値	-27.1	-21.0	-27.7	-20.8	-19.4	-20.5	-20.9	-11.7	-24.3	-15.7	-15.4	-19.2	-16.9	-14.8	-15.2	-16.0	1.7	-12.6
	傾向値	-30.7		-29.6		-27.9		-25.4		-23.7		-21.8		-20.0		-19.1			
売上額	増加	7.0	8.5	8.9	7.8	11.9	9.8	12.4	10.1	15.1	13.3	11.8	11.3	9.5	8.9	8.7	11.4		8.7
	変らず	77.3	73.7	71.5	79.2	74.3	78.6	69.5	81.6	64.1	73.4	72.5	73.6	71.5	78.2	72.1	74.3		76.9
	減少	15.7	17.8	19.6	13.0	13.8	11.6	18.1	8.3	20.8	13.3	15.7	15.1	19.0	12.9	19.2	14.3		14.4
	D・I	-8.7	-9.3	-10.7	-5.2	-1.9	-1.8	-5.7	1.8	-5.7	0.0	-3.9	-3.8	-9.5	-4.0	-10.5	-2.9		-5.7
	修正値	-10.9	-9.3	-11.4	-7.7	-1.7	-5.1	-5.2	3.2	-7.5	0.7	-3.9	-4.7	-7.2	-5.6	-10.1	-1.3	-2.9	-5.8
	傾向値	-16.3		-14.0		-11.0		-8.0		-6.4		-5.2		-5.3		-6.8			
受注残	増加	6.1	7.6	6.3	5.2	7.3	6.3	7.6	4.6	10.4	7.6	11.8	8.5	11.4	7.9	8.7	8.6		7.7
	変らず	81.7	78.0	77.6	85.2	81.7	83.9	77.2	87.1	70.7	80.0	70.6	76.4	71.5	76.3	76.9	78.1		80.8
	減少	12.2	14.4	16.1	9.6	11.0	9.8	15.2	8.3	18.9	12.4	17.6	15.1	17.1	15.8	14.4	13.3		11.5
	D・I	-6.1	-6.8	-9.8	-4.4	-3.7	-3.5	-7.6	-3.7	-8.5	-4.8	-5.8	-6.6	-5.7	-7.9	-5.7	-4.7		-3.8
	修正値	-7.9	-7.6	-10.2	-6.5	-3.2	-6.4	-7.8	-1.3	-9.7	-4.1	-5.5	-7.1	-4.1	-9.1	-6.6	-3.0	-2.5	-4.6
	傾向値	-15.6		-12.8		-9.6		-7.3		-7.1		-6.9		-6.7		-6.7			
収益	増加	6.1	5.1	3.6	4.3	6.4	5.4	7.6	4.6	9.4	7.6	9.8	8.5	9.5	8.9	8.7	7.6		7.7
	変らず	77.4	77.1	78.4	83.5	80.8	81.2	77.2	84.4	69.8	78.1	79.4	79.2	75.3	80.2	75.9	79.1		76.9
	減少	16.5	17.8	18.0	12.2	12.8	13.4	15.2	11.0	20.8	14.3	10.8	12.3	15.2	10.9	15.4	13.3		15.4
	D・I	-10.4	-12.7	-14.4	-7.9	-6.4	-8.0	-7.6	-6.4	-11.4	-6.7	-1.0	-3.8	-5.7	-2.0	-6.7	-5.7		-7.7
	修正値	-12.5	-11.6	-15.2	-9.7	-6.0	-10.6	-6.0	-5.4	-12.5	-4.7	-2.9	-5.1	-4.5	-4.7	-6.3	-4.6	-1.8	-5.9
	傾向値	-17.9		-16.3		-14.0		-11.1		-9.8		-8.3		-6.5		-6.3			
価格動向	販売価格	2.6	3.4	7.1	1.8	11.0	8.9	13.3	10.1	11.3	12.3	7.9	10.4	11.4	9.9	11.6	13.3		16.3
	修正値	1.4	1.9	5.7	1.0	10.0	6.3	11.1	9.8	10.5	10.6	7.5	10.2	10.4	8.1	9.0	12.5	-1.4	13.8
	傾向値	-2.9		-0.2		3.7		7.2		9.6		10.8		10.9		10.8			
	原材料価格	18.3	20.4	28.5	18.3	29.3	29.5	30.4	22.0	29.3	26.6	23.6	24.5	32.3	23.7	32.7	34.3		32.7
	修正値	17.7	16.6	26.5	17.8	27.5	27.2	26.1	21.9	28.9	23.6	22.4	24.9	29.7	21.4	28.5	32.4	-1.2	29.0
	傾向値	11.6		16.7		21.7		25.2		28.0		28.8		28.5		29.2			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	-3.5	-4.3	-3.6	-5.2	-4.6	-0.9	-4.7	-2.8	-3.8	-2.8	-0.9	0.0	-4.7	-1.0	-1.0	-2.9		1.0
	修正値	-3.0	-4.4	-4.1	-4.6	-4.2	-2.3	-4.7	-2.3	-3.2	-2.3	-1.3	0.7	-3.9	-2.0	-1.5	-2.3	2.4	0.9
	資金繰り	-6.1	-4.3	-10.7	-6.1	-3.7	-8.0	-5.7	-3.6	-8.5	-4.9	-5.9	-6.6	-10.5	-3.9	-9.7	-6.7		-4.8
修正値	-7.0	-4.4	-10.7	-8.7	-4.7	-8.7	-6.5	-3.2	-8.4	-4.3	-5.0	-8.0	-9.6	-4.3	-10.4	-5.9	-0.8	-4.4	
前年同期比	売上額	-4.3		-2.7		4.6		4.8		8.5		1.0		-0.9		-2.8			
	収益	-10.5		-6.3		-2.7		-3.8		-8.5		1.9		-5.7		-5.8			
雇用	残業時間	-2.6	-2.6	-1.8	-5.2	-0.9	-2.7	0.9	-3.7	-2.9	-1.9	-3.9	-3.8	-3.8	-4.9	-1.0	-3.8		-1.9
	人手	-2.6	-3.4	-4.5	-1.7	-6.5	-2.8	-5.7	-6.5	-7.5	-4.8	-3.0	-6.7	-4.8	-2.9	-5.7	-4.9		-4.8
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	12.3	5.1	14.3	6.3	13.8	7.3	11.4	7.3	14.3	8.6	10.9	8.7	15.2	8.9	13.5	9.5		9.7
	借入しない/借入の予定なし(%)	87.7	94.9	85.7	93.7	86.2	92.7	88.6	92.7	85.7	91.4	89.1	91.3	84.8	91.1	86.5	90.5		90.3
	借入難易度	-8.2		-4.0		0.0		-4.1		-7.2		-8.6		-11.0		-9.6			
有効回答事業所数	115		112		109		105		107		103		105		104				

# 中小企業景況調査 転記表 2

令和6年7月～9月期

## 製造業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和4年		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		対前期比	6年10-12月期
	10月～12月期	1月～3月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-2.6	-0.8	-0.9	-2.6	-4.6	0.0	-2.9	-3.7	-5.7	-1.9	-5.9	-5.7	-2.9	-5.9	0.0	-1.9		1.0	
	<b>実施した・予定あり</b>	<b>7.8</b>	<b>6.8</b>	<b>10.7</b>	<b>9.6</b>	<b>10.2</b>	<b>10.9</b>	<b>9.5</b>	<b>9.5</b>	<b>9.4</b>	<b>8.7</b>	<b>7.8</b>	<b>10.4</b>	<b>9.6</b>	<b>9.8</b>	<b>8.7</b>	<b>9.6</b>		<b>7.8</b>	
	事業用土地・建物	33.3	25.0	41.7	18.2	36.4	16.7	40.0	40.0	40.0	44.4	25.0	27.3	30.0	30.0	22.2	20.0		37.5	
	機械・設備の新・増設	22.2	25.0	16.7	36.4	18.2	33.3	20.0	20.0	30.0	22.2	25.0	36.4	20.0	40.0	33.3	20.0		25.0	
	機械・設備の更改	55.6	62.5	66.7	54.5	81.8	75.0	60.0	90.0	70.0	77.8	75.0	72.7	60.0	70.0	55.6	80.0		62.5	
	事務機器	11.1	-	41.7	9.1	9.1	16.7	20.0	10.0	10.0	11.1	25.0	9.1	10.0	10.0	11.1	10.0		12.5	
	車両	11.1	-	25.0	18.2	-	-	-	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-		-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
	実施しない・予定なし	92.2	93.2	89.3	90.4	89.8	89.1	90.5	90.5	90.6	91.3	92.2	89.6	90.4	90.2	91.3	90.4		92.2	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	33.0		32.1		29.4		32.4		31.8		33.0		31.4		28.8				
	人手不足	8.7		9.8		11.9		4.8		10.3		6.8		8.6		7.7				
	大手企業との競争の激化	3.5		4.5		3.7		3.8		5.6		4.9		5.7		5.8				
	同業者間の競争の激化	15.7		13.4		11.9		10.5		15.0		11.7		16.2		17.3				
	親企業による選別の強化	-		0.9		-		-		-		-		-		-				
	輸入製品との競争の激化	3.5		1.8		1.8		1.9		1.9		1.0		1.0		1.0				
	合理化の不足	1.7		1.8		0.9		1.0		0.9		3.9		2.9		2.9				
	利幅の縮小	8.7		9.8		6.4		8.6		6.5		5.8		10.5		9.6				
	原材料高	13.9		17.9		18.3		25.7		21.5		24.3		25.7		26.0				
	販売納入先からの値下げ要請	2.6		0.9		1.8		1.9		0.9		1.0		2.9		1.0				
	仕入先からの値上げ要請	9.6		11.6		13.8		10.5		10.3		10.7		8.6		7.7				
	人件費の増加	0.9		0.9		2.8		1.9		3.7		3.9		5.7		4.8				
	人件費以外の経費増加	1.7		1.8		1.8		1.9		1.9		1.9		1.9		1.9				
	工場・機械の狭小・老朽化	6.1		4.5		4.6		5.7		5.6		6.8		5.7		6.7				
	生産能力の不足	2.6		3.6		1.8		1.0		1.9		1.9		3.8		3.8				
	下請の確保難	0.9		-		-		-		0.9		1.0		1.9		1.0				
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-				
	地価の高騰	0.9		-		-		-		-		-		1.9		1.0				
	天候の不順	-		-		-		1.0		-		-		-		-				
	地場産業の衰退	2.6		2.7		2.8		2.9		3.7		1.9		1.9		1.9				
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.9		0.9		0.9		1.0		0.9		1.0		-		-				
為替レートの変動	-		0.9		-		-		-		-		-		-					
その他	2.6		2.7		-		2.9		-		1.0		1.9		1.9					
問題なし	35.7		34.8		38.5		37.1		35.5		33.0		25.7		27.9					
重点経営施策(%)	販路を広げる	38.3		39.3		35.8		39.0		41.1		40.8		40.0		38.5				
	経費を節減する	34.8		37.5		36.7		37.1		36.4		40.8		41.9		37.5				
	情報力を強化する	3.5		7.1		2.8		1.9		2.8		2.9		10.5		9.6				
	新製品・技術を開発する	4.3		2.7		2.8		3.8		2.8		1.0		1.0		2.9				
	不採算部門を整理・縮小する	4.3		7.1		3.7		2.9		4.7		3.9		5.7		3.8				
	提携先を見つける	3.5		3.6		2.8		1.9		0.9		1.9		1.9		1.9				
	機械化を推進する	3.5		4.5		4.6		3.8		5.6		4.9		2.9		3.8				
	人材を確保する	8.7		8.0		6.4		5.7		8.4		5.8		9.5		14.4				
	パート化を図る	-		0.9		1.8		1.9		1.9		1.9		1.9		1.0				
	教育訓練を強化する	0.9		1.8		0.9		1.0		0.9		1.0		-		-				
	労働条件を改善する	0.9		0.9		1.8		2.9		2.8		1.0		-		1.9				
	工場・機械を増設・移転する	2.6		0.9		2.8		1.9		2.8		2.9		4.8		2.9				
	不動産の有効活用を図る	0.9		0.9		-		1.0		0.9		-		1.0		1.0				
	その他	-		0.9		0.9		-		0.9		1.0		1.0		1.0				
特になし	40.9		39.3		43.1		44.8		40.2		40.8		33.3		32.7					
有効回答事業所数	115		112		109		105		107		103		105		104					

# 中小企業景況調査 転記表 1

令和6年7月～9月期

## 卸売業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	令和4年		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		対 前期比	6年 10-12 月期
		10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期						
業 況	良 い	17.4	13.0	25.0	17.4	21.7	20.8	17.4	18.2	21.7	13.0	25.0	30.4	20.8	25.0	20.8		43.5	
	普 通	43.5	60.9	33.3	47.8	34.8	41.7	39.1	45.4	47.9	56.6	50.0	43.5	66.7	58.3	54.2	62.5	34.8	
	悪 い	39.1	26.1	41.7	34.8	43.5	37.5	43.5	36.4	30.4	30.4	25.0	26.1	12.5	16.7	20.8	16.7	21.7	
	D・I	-21.7	-13.1	-16.7	-17.4	-21.8	-16.7	-26.1	-18.2	-8.7	-17.4	0.0	4.3	8.3	8.3	4.2	4.1	21.8	
	修正値	-23.6	-14.0	-20.1	-20.0	-18.5	-13.0	-19.9	-15.8	-13.3	-13.9	-6.6	-0.5	9.1	5.5	9.0	3.8	-0.1	18.7
	傾向値	-22.4		-19.0		-17.9		-19.9		-20.0		-16.2		-10.4		-2.8			
売 上 額	増 加	26.1	13.0	25.0	17.4	21.7	16.7	17.4	26.1	30.4	13.0	33.3	30.4	20.8	33.3	20.8	25.0	29.2	
	変 ら ず	39.1	60.9	33.3	56.5	34.8	58.3	34.8	47.8	39.2	52.2	50.0	39.2	58.4	45.9	58.4	50.0	58.3	
	減 少	34.8	26.1	41.7	26.1	43.5	25.0	47.8	26.1	30.4	34.8	16.7	30.4	20.8	20.8	20.8	25.0	12.5	
	D・I	-8.7	-13.1	-16.7	-8.7	-21.8	-8.3	-30.4	0.0	0.0	-21.8	16.6	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	16.7	
	修正値	-8.5	-11.9	-12.8	-9.4	-21.9	-3.8	-26.4	-4.3	-4.8	-16.9	12.5	1.7	0.8	11.2	5.9	-5.5	5.1	18.4
	傾向値	-17.9		-13.5		-13.0		-16.7		-18.3		-13.1		-6.2		0.4			
収 益	増 加	13.0	17.4	20.8	13.0	13.0	12.5	13.0	17.4	26.1	13.0	25.0	30.4	20.8	25.0	12.5	25.0	25.0	
	変 ら ず	56.6	52.2	29.2	60.9	34.8	50.0	43.5	43.5	43.5	52.2	50.0	43.5	54.2	45.8	66.7	54.2	62.5	
	減 少	30.4	30.4	50.0	26.1	52.2	37.5	43.5	39.1	30.4	34.8	25.0	26.1	25.0	29.2	20.8	20.8	12.5	
	D・I	-17.4	-13.0	-29.2	-13.1	-39.2	-25.0	-30.5	-21.7	-4.3	-21.8	0.0	4.3	-4.2	-4.2	-8.3	4.2	12.5	
	修正値	-19.7	-15.0	-25.9	-13.5	-37.4	-17.9	-26.6	-22.5	-11.1	-21.6	-0.2	1.8	-1.1	0.5	-5.0	1.8	-3.9	9.2
	傾向値	-19.0		-18.4		-21.0		-26.4		-27.4		-22.2		-14.1		-7.0			
価 格 動 向	販売価格	13.0	13.0	33.3	8.7	26.1	25.0	34.8	26.1	30.5	8.7	37.5	21.8	37.5	37.5	45.8	33.3	37.5	
	修正値	11.9	12.9	30.0	9.8	20.9	20.9	31.0	21.5	29.6	10.2	33.8	21.2	32.2	30.3	39.7	26.0	7.5	37.5
	傾向値	14.4		20.2		23.7		25.2		29.0		31.7		33.7		36.5			
	仕入価格	30.4	30.4	62.5	17.4	60.9	50.0	65.2	56.5	47.8	43.5	45.8	34.8	58.3	47.8	54.1	54.2	37.5	
	修正値	30.1	24.1	60.1	22.3	51.5	44.9	57.3	48.1	50.2	37.3	44.8	42.2	48.8	43.5	46.3	44.1	-2.5	32.2
	傾向値	29.6		38.1		45.2		51.0		56.9		57.0		54.6		52.9			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在庫数量	-13.1	-13.0	-4.1	-13.1	-13.1	-12.5	-4.4	-4.4	4.4	-8.7	-4.2	4.4	0.0	4.2	4.2	4.2	8.3	
	修正値	-10.6	-14.2	-3.3	-13.8	-13.4	-9.9	-6.0	-5.3	5.6	-9.2	-2.1	2.9	-1.3	7.2	1.9	2.5	3.2	6.9
	資金繰り	-13.1	-13.0	-16.7	-13.1	-26.1	-12.5	-13.0	-26.1	0.0	-17.4	0.0	0.0	16.6	0.0	4.2	16.6	8.4	
	修正値	-15.5	-13.1	-14.4	-17.4	-23.7	-12.0	-12.6	-20.5	-6.5	-16.2	0.9	-6.4	17.0	-2.2	4.9	20.3	-12.1	8.0
前 年 同 期 比	売上額	-8.7		-8.4		-8.7		-8.7		4.4		25.0		8.3		8.4			
	収 益	-17.4		-25.0		-13.1		-26.1		-4.3		4.2		-4.1		-8.4			
	販売価格	26.1		41.7		43.5		26.1		39.2		33.3		37.5		45.8			
雇 用	残業時間	-4.4	-4.3	-12.5	-4.4	4.4	0.0	0.0	4.3	8.7	-4.3	4.2	0.0	8.3	4.2	4.1	0.0	0.0	
	人手	0.0	0.0	-4.1	-4.4	-17.4	-4.1	-21.7	-17.4	-26.1	-21.7	-25.0	-21.7	-25.0	-25.0	-16.7	-20.8	-17.4	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	8.7	4.5	16.7	9.1	21.7	13.0	26.1	17.4	26.1	17.4	29.2	13.0	25.0	16.7	25.0	16.7	16.7	
	借入しない/借入の予定なし(%)	91.3	95.5	83.3	90.9	78.3	87.0	73.9	82.6	73.9	82.6	70.8	87.0	75.0	83.3	75.0	83.3	83.3	
	借入難易度	-9.1		-8.7		-18.2		-13.1		-9.1		0.0		4.3		14.3			
有効回答事業所数	23		24		23		23		23		24		24		24				

# 中小企業景況調査 転記表 2

令和6年7月～9月期

## 卸売業

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和4年		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		対前期比	6年10-12月期
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	4.4	4.5	0.0	4.4	4.3	-4.1	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-4.1	0.0	-8.7	-4.1			-8.7
	<b>実施した・予定あり</b>	<b>17.4</b>	<b>9.5</b>	<b>20.8</b>	<b>17.4</b>	<b>19.0</b>	<b>20.8</b>	<b>27.3</b>	<b>14.3</b>	<b>18.2</b>	<b>22.7</b>	<b>17.4</b>	<b>18.2</b>	<b>17.4</b>	<b>25.0</b>	<b>14.3</b>	<b>18.2</b>			<b>33.3</b>
	事業用土地・建物	25.0	-	20.0	25.0	25.0	40.0	16.7	33.3	25.0	20.0	25.0	25.0	50.0	33.3	66.7	25.0			28.6
	事務機器	25.0	50.0	60.0	25.0	25.0	40.0	16.7	33.3	25.0	20.0	25.0	25.0	50.0	16.7	33.3	50.0			14.3
	車両	25.0	-	60.0	25.0	75.0	60.0	66.7	66.7	75.0	60.0	50.0	75.0	75.0	33.3	33.3	25.0			28.6
		25.0	50.0	20.0	50.0	75.0	40.0	50.0	100.0	75.0	80.0	75.0	75.0	25.0	33.3	33.3	50.0			28.6
		25.0	100.0	20.0	-	50.0	40.0	16.7	33.3	25.0	20.0	50.0	25.0	-	50.0	33.3	25.0			42.9
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
実施しない・予定なし	82.6	90.5	79.2	82.6	81.0	79.2	72.7	85.7	81.8	77.3	82.6	81.8	82.6	75.0	85.7	81.8			66.7	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	30.4		12.5		26.1		21.7		17.4		25.0		25.0		29.2				
	人手不足	13.0		4.2		8.7		8.7		13.0		12.5		8.3		16.7				
	同業者間の競争の激化	17.4		12.5		13.0		17.4		13.0		8.3		8.3		8.3				
	輸入品との競争の激化	4.3		4.2		4.3		4.3		4.3		-		8.3		8.3				
	流通経路の変化による競争の激化	-		-		-		-		-		-		-		-				
	合理化の不足	4.3		4.2		-		4.3		-		-		8.3		8.3				
	小口注文・多頻度配送の増加	8.7		4.2		4.3		-		4.3		-		4.2		4.2				
	利幅の縮小	21.7		12.5		21.7		21.7		26.1		20.8		29.2		29.2				
	取扱商品の陳腐化	-		4.2		-		-		4.3		4.2		4.2		4.2				
	販売商品の不足	13.0		12.5		8.7		8.7		13.0		16.7		8.3		8.3				
	販売納入先からの値下げ要請	-		4.2		-		-		-		-		-		-				
	仕入先からの値上げ要請	13.0		33.3		34.8		30.4		26.1		29.2		25.0		25.0				
	人件費の増加	13.0		20.8		8.7		4.3		-		4.2		8.3		8.3				
	人件費以外の経費の増加	-		4.2		4.3		4.3		-		-		4.2		-				
	取引先の減少	17.4		12.5		17.4		13.0		4.3		8.3		8.3		8.3				
	店舗の狭小・老朽化	8.7		4.2		8.7		4.3		-		-		4.2		-				
	代金回収の悪化	-		4.2		-		-		-		-		-		-				
	地価の高騰	-		-		8.7		8.7		8.7		8.3		4.2		4.2				
	駐車場の確保難	-		-		4.3		4.3		4.3		4.2		-		4.2				
	天候の不順	-		4.2		-		4.3		-		-		-		-				
地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-					
為替レートの変動	8.7		-		8.7		17.4		13.0		12.5		4.2		12.5					
大手企業・工場の縮小・撤退	4.3		-		-		-		-		-		-		-					
その他	-		-		-		-		-		-		-		-					
問題なし	21.7		25.0		17.4		21.7		30.4		29.2		16.7		16.7					
重点経営施策(%)	販路を広げる	47.8		50.0		47.8		47.8		39.1		41.7		33.3		37.5				
	経費を節減する	17.4		20.8		30.4		30.4		21.7		12.5		20.8		25.0				
	品揃えを充実する	8.7		4.2		26.1		13.0		17.4		12.5		16.7		12.5				
	情報力を強化する	17.4		8.3		13.0		21.7		17.4		16.7		20.8		25.0				
	新しい事業を始める	4.3		4.2		8.7		8.7		-		4.2		-		-				
	提携先を見つける	-		-		-		-		-		-		-		-				
	機械化を推進する	4.3		8.3		-		-		-		4.2		-		-				
	人材を確保する	17.4		16.7		8.7		21.7		17.4		20.8		20.8		20.8				
	パート化を図る	8.7		8.3		4.3		4.3		4.3		4.2		-		-				
	教育訓練を強化する	-		-		-		-		4.3		4.2		12.5		8.3				
	流通経路の見直しをする	4.3		-		-		-		4.3		8.3		4.2		4.2				
	取引先を支援する	4.3		4.2		4.3		4.3		4.3		4.2		4.2		8.3				
	輸入品の取扱いを増やす	-		4.2		4.3		4.3		4.3		-		-		-				
	労働条件を改善する	4.3		4.2		4.3		4.3		-		-		4.2		4.2				
	不動産の有効活用を図る	-		4.2		4.3		4.3		-		-		-		-				
	その他	-		-		4.3		-		-		-		-		-				
	特になし	26.1		33.3		21.7		26.1		34.8		33.3		25.0		20.8				
有効回答事業所数	23		24		23		23		23		24		24		24					

# 中小企業景況調査 転記表 1

令和6年7月～9月期

## 小売業

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		令和4年 10月～12月期		令和5年 1月～3月期		令和5年 4月～6月期		令和5年 7月～9月期		令和5年 10月～12月期		令和6年 1月～3月期		令和6年 4月～6月期		令和6年 7月～9月期		対 前期比	6年 10-12 月期
業 況	良 い	-	2.2	-	-	4.7	-	4.9	-	-	5.0	-	-	-	2.6	2.7	-	-	-
	普 通	76.1	71.1	72.3	78.3	67.4	74.5	70.7	76.7	76.7	75.0	79.5	78.6	69.4	76.3	70.3	67.6	-	79.4
	悪 い	23.9	26.7	27.7	21.7	27.9	25.5	24.4	23.3	23.3	20.0	20.5	21.4	30.6	21.1	27.0	32.4	-	20.6
	D・I	-23.9	-24.5	-27.7	-21.7	-23.2	-25.5	-19.5	-23.3	-23.3	-15.0	-20.5	-21.4	-30.6	-18.5	-24.3	-32.4	-	-20.6
	修正値	<b>-23.3</b>	<b>-21.7</b>	<b>-26.4</b>	<b>-20.9</b>	<b>-23.3</b>	<b>-25.1</b>	<b>-18.9</b>	<b>-24.1</b>	<b>-23.2</b>	<b>-12.5</b>	<b>-20.6</b>	<b>-21.2</b>	<b>-28.8</b>	<b>-20.0</b>	<b>-23.9</b>	<b>-30.8</b>	4.9	<b>-18.8</b>
	傾向値	-26.5		-24.4		-24.2		-24.1		-23.5		-22.5		-22.6		-24.1			
売 上 額	増 加	-	-	-	-	2.3	2.1	2.4	4.7	4.7	2.4	5.1	4.7	2.8	5.1	2.7	2.8	-	-
	変 ら ず	82.6	73.9	83.0	87.0	74.4	85.1	78.1	76.7	76.7	80.5	82.1	79.0	72.2	84.6	83.8	77.8	-	91.7
	減 少	17.4	26.1	17.0	13.0	23.3	12.8	19.5	18.6	18.6	17.1	12.8	16.3	25.0	10.3	13.5	19.4	-	8.3
	D・I	-17.4	-26.1	-17.0	-13.0	-21.0	-10.7	-17.1	-13.9	-13.9	-14.7	-7.7	-11.6	-22.2	-5.2	-10.8	-16.6	-	-8.3
	修正値	<b>-16.6</b>	<b>-25.3</b>	<b>-17.7</b>	<b>-12.7</b>	<b>-20.7</b>	<b>-12.5</b>	<b>-14.8</b>	<b>-13.0</b>	<b>-13.3</b>	<b>-10.8</b>	<b>-10.1</b>	<b>-11.3</b>	<b>-20.3</b>	<b>-9.5</b>	<b>-9.5</b>	<b>-15.6</b>	10.8	<b>-3.7</b>
	傾向値	-22.2		-19.0		-18.5		-18.7		-17.7		-16.1		-15.1		-14.4			
収 益	増 加	-	-	-	-	2.3	2.1	2.4	2.3	2.3	-	2.6	2.3	5.6	2.6	5.4	5.6	-	2.8
	変 ら ず	82.6	78.3	83.0	82.6	76.8	80.9	73.2	76.8	76.8	80.5	79.5	79.1	66.6	84.6	75.7	72.2	-	83.3
	減 少	17.4	21.7	17.0	17.4	20.9	17.0	24.4	20.9	20.9	19.5	17.9	18.6	27.8	12.8	18.9	22.2	-	13.9
	D・I	-17.4	-21.7	-17.0	-17.4	-18.6	-14.9	-22.0	-18.6	-18.6	-19.5	-15.3	-16.3	-22.2	-10.2	-13.5	-16.6	-	-11.1
	修正値	<b>-16.1</b>	<b>-21.9</b>	<b>-16.8</b>	<b>-16.3</b>	<b>-18.0</b>	<b>-15.6</b>	<b>-20.2</b>	<b>-17.0</b>	<b>-17.7</b>	<b>-16.6</b>	<b>-15.9</b>	<b>-15.6</b>	<b>-21.7</b>	<b>-13.6</b>	<b>-12.3</b>	<b>-16.1</b>	9.4	<b>-7.6</b>
	傾向値	-19.9		-16.6		-16.6		-18.2		-18.9		-18.8		-19.1		-18.5			
価 格 動 向	販売価格	0.0	-2.2	8.5	2.2	13.9	10.6	19.5	9.3	11.6	7.3	15.4	7.0	22.2	10.3	21.6	19.4	-	16.7
	修正値	<b>0.7</b>	<b>-0.9</b>	<b>5.3</b>	<b>2.0</b>	<b>13.1</b>	<b>6.4</b>	<b>19.1</b>	<b>11.0</b>	<b>12.6</b>	<b>9.0</b>	<b>11.9</b>	<b>7.4</b>	<b>20.2</b>	<b>5.6</b>	<b>20.0</b>	<b>18.2</b>	-0.2	<b>17.8</b>
	傾向値	1.9		3.0		5.2		8.6		11.9		14.2		16.1		17.4			
	仕入価格	19.6	17.4	23.4	21.8	27.9	21.3	24.4	20.9	25.5	12.2	33.4	18.6	36.1	20.5	43.2	33.3	-	38.9
	修正値	<b>17.8</b>	<b>18.3</b>	<b>19.2</b>	<b>19.3</b>	<b>26.9</b>	<b>17.5</b>	<b>25.4</b>	<b>23.1</b>	<b>23.9</b>	<b>13.7</b>	<b>27.8</b>	<b>16.5</b>	<b>34.2</b>	<b>16.1</b>	<b>41.1</b>	<b>31.8</b>	6.9	<b>37.4</b>
	傾向値	8.9		13.5		18.6		22.4		24.6		26.6		28.8		32.2			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在庫数量	-2.2	2.2	0.0	-4.3	0.0	0.0	-7.3	0.0	-7.0	-7.3	-5.1	-7.0	-5.6	-7.7	0.0	-5.6	-	-2.8
	修正値	<b>-2.5</b>	<b>2.8</b>	<b>-0.6</b>	<b>-3.3</b>	<b>0.3</b>	<b>-1.3</b>	<b>-4.7</b>	<b>1.1</b>	<b>-6.4</b>	<b>-5.5</b>	<b>-5.9</b>	<b>-5.2</b>	<b>-5.9</b>	<b>-8.7</b>	<b>1.2</b>	<b>-6.1</b>	7.1	<b>-1.8</b>
	資金繰り	-10.9	-13.0	-8.5	-10.9	-4.7	-8.5	-9.8	-4.7	-7.1	-9.8	-5.1	-7.1	-11.1	-7.7	-8.1	-11.1	-	-8.3
修正値	<b>-12.0</b>	<b>-10.6</b>	<b>-10.8</b>	<b>-10.7</b>	<b>-4.0</b>	<b>-11.9</b>	<b>-5.5</b>	<b>-3.3</b>	<b>-7.1</b>	<b>-6.0</b>	<b>-8.0</b>	<b>-6.0</b>	<b>-10.2</b>	<b>-11.3</b>	<b>-4.1</b>	<b>-10.6</b>	6.1	<b>-4.0</b>	
前 年 同 期 比	売上額	-15.2		-12.7		-13.9		-14.6		-4.6		-5.2		-13.9		-16.2			
	収 益	-15.2		-17.0		-16.2		-12.2		-11.6		-5.2		-19.4		-24.3			
	販売価格	0.0		2.1		18.6		21.9		16.6		17.9		25.0		21.6			
雇 用	残業時間	-2.2	-6.5	-2.1	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	-2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.7	0.0	-	-2.8
	人手	-4.3	-2.2	-4.3	-4.3	-7.0	-4.3	-4.9	-7.0	-7.0	-4.9	-10.3	-7.0	-8.3	-7.7	-10.8	-5.6	-	-8.3
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	2.2	0.0	2.2	4.3	7.0	0.0	4.9	2.3	7.0	2.4	10.3	2.3	8.3	5.1	10.8	2.8	-	5.6
	借入しない/借入の予定なし(%)	97.8	100.0	97.8	95.7	93.0	100.0	95.1	97.7	93.0	97.6	89.7	97.7	91.7	94.9	89.2	97.2	-	94.4
	借入難易度	<b>-14.0</b>		<b>-19.0</b>		<b>-10.2</b>		<b>-8.3</b>		<b>-7.7</b>		<b>-5.9</b>		<b>-9.4</b>		<b>-8.8</b>			
有効回答事業所数	46		47		43		41		43		39		36		38				

# 中小企業景況調査 転記表 2

令和6年7月～9月期

## 小売業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和4年		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		対 前期比	6年 10-12 月期	
	10月～12月期	1月～3月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期					
設備投資動向(%)	現在の設備	-4.3	-2.1	-2.2	-4.3	-2.3	-2.2	-4.9	-2.3	-4.7	-2.4	-5.1	-2.3	-2.8	-5.1	-5.4	-2.8			-2.8	
	<b>実施した・予定あり</b>	<b>4.4</b>	<b>4.4</b>	<b>6.5</b>	<b>6.7</b>	<b>2.4</b>	<b>4.3</b>	<b>2.5</b>	<b>2.4</b>	<b>2.3</b>	<b>2.5</b>	<b>5.1</b>	<b>2.3</b>	<b>5.7</b>	<b>2.6</b>	<b>5.4</b>	<b>5.9</b>			<b>5.6</b>	
	事業用土地・建物	50.0	-	33.3	33.3	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	50.0			50.0	
	事務機器	-	-	66.7	33.3	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
	車両	-	50.0	66.7	33.3	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
	その他	50.0	50.0	33.3	33.3	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0			50.0	
	実施しない・予定なし	95.6	95.6	93.5	93.3	97.6	95.7	97.5	97.6	97.7	97.5	94.9	97.7	94.3	97.4	94.6	94.1			94.4	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	43.5		36.2		37.2		31.7		32.6		25.6		36.1		34.2					
	人手不足	-		2.1		2.3		7.3		7.0		5.1		2.8		7.9					
	同業者間の競争の激化	19.6		21.3		18.6		22.0		18.6		20.5		16.7		15.8					
	大型店との競争の激化	13.0		8.5		4.7		7.3		11.6		12.8		13.9		10.5					
	輸入製品との競争の激化	-		2.1		-		-		2.3		-		-		2.6					
	利幅の縮小	4.3		8.5		14.0		12.2		16.3		10.3		16.7		13.2					
	取扱商品の陳腐化	-		2.1		-		-		-		-		-		-					
	販売商品の不足	6.5		4.3		7.0		2.4		2.3		2.6		2.8		5.3					
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		-		-		-		2.8		-					
	仕入先からの値上げ要請	17.4		27.7		27.9		29.3		27.9		25.6		33.3		26.3					
	人件費の増加	2.2		4.3		2.3		2.4		2.3		5.1		11.1		10.5					
	人件費以外の経費の増加	2.2		2.1		2.3		2.4		2.3		2.6		2.8		2.6					
	取引先の減少	6.5		4.3		2.3		2.4		2.3		-		-		-					
	商圏人口の減少	4.3		4.3		2.3		-		-		-		-		-					
	商店街の集客力の低下	10.9		6.4		2.3		4.9		4.7		7.7		5.6		10.5					
	店舗の狭小・老朽化	-		-		-		-		-		-		-		-					
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-					
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-					
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-					
	天候の不順	4.3		-		-		-		-		-		-		-					
	地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-					
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-					
	その他	-		-		2.3		-		-		-		-		-					
問題なし	34.8		34.0		37.2		41.5		39.5		38.5		30.6		34.2						
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	21.7		23.4		23.3		19.5		20.9		20.5		22.2		13.2					
	経費を節減する	30.4		29.8		30.2		31.7		34.9		35.9		27.8		39.5					
	宣伝・広報を強化する	15.2		14.9		11.6		7.3		7.0		10.3		16.7		7.9					
	新しい事業を始める	2.2		2.1		2.3		2.4		2.3		2.6		-		-					
	店舗・設備を改装する	6.5		6.4		2.3		2.4		2.3		-		2.8		2.6					
	仕入先を開拓・選別する	2.2		4.3		2.3		4.9		4.7		7.7		5.6		10.5					
	営業時間を延長する	4.3		4.3		2.3		2.4		2.3		-		2.8		-					
	売れ筋商品を取り扱う	15.2		12.8		20.9		19.5		18.6		12.8		19.4		15.8					
	商店街事業を活性化させる	15.2		14.9		11.6		7.3		9.3		10.3		11.1		13.2					
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		2.8		2.6					
	人材を確保する	2.2		2.1		4.7		7.3		7.0		2.6		5.6		5.3					
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-					
	教育訓練を強化する	2.2		2.1		2.3		2.4		-		-		-		-					
	輸入品の取扱いを増やす	-		2.1		2.3		-		-		-		-		2.6					
	不動産の有効活用を図る	-		2.1		-		-		-		-		-		-					
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-					
	特になし	37.0		34.0		39.5		46.3		46.5		46.2		44.4		42.1					
有効回答事業所数	46		47		43		41		43		39		36		38						

# 中小企業景況調査 転記表 1

令和6年7月～9月期

## サービス業

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		令和4年		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		対 前期比	6年 10-12 月期
			10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期			
業 況	良	い	-	5.7	-	-	2.9	-	3.0	5.9	8.8	3.0	3.0	5.9	9.4	3.0	-	6.3		-
	普	通	72.7	71.4	69.7	72.7	73.6	66.7	72.8	70.6	70.6	72.8	75.8	73.5	68.7	75.8	75.0	71.8		75.0
	悪	い	27.3	22.9	30.3	27.3	23.5	33.3	24.2	23.5	20.6	24.2	21.2	20.6	21.9	21.2	25.0	21.9		25.0
	D	・I	-27.3	-17.2	-30.3	-27.3	-20.6	-33.3	-21.2	-17.6	-11.8	-21.2	-18.2	-14.7	-12.5	-18.2	-25.0	-15.6		-25.0
	修	正 値	<b>-26.0</b>	<b>-17.6</b>	<b>-28.7</b>	<b>-25.1</b>	<b>-19.6</b>	<b>-31.6</b>	<b>-23.1</b>	<b>-20.7</b>	<b>-12.0</b>	<b>-20.9</b>	<b>-16.3</b>	<b>-13.0</b>	<b>-10.9</b>	<b>-16.3</b>	<b>-24.4</b>	<b>-17.9</b>	-13.5	<b>-21.9</b>
	傾	向 値	-26.8		-24.1		-24.2		-24.6		-22.9		-19.5		-16.9		-16.4			
売 上 額	増	加	3.0	5.6	9.1	3.0	8.8	6.1	6.1	5.9	8.8	3.0	6.1	5.9	12.5	6.1	3.1	6.3		3.1
	変	ら ず	78.8	72.2	66.7	78.8	70.6	72.7	69.7	73.5	64.7	78.8	69.7	70.6	68.7	66.6	78.1	71.8		75.0
	減	少	18.2	22.2	24.2	18.2	20.6	21.2	24.2	20.6	26.5	18.2	24.2	23.5	18.8	27.3	18.8	21.9		21.9
	D	・I	-15.2	-16.6	-15.1	-15.2	-11.8	-15.1	-18.1	-14.7	-17.7	-15.2	-18.1	-17.6	-6.3	-21.2	-15.7	-15.6		-18.8
	修	正 値	<b>-16.0</b>	<b>-12.5</b>	<b>-17.4</b>	<b>-19.0</b>	<b>-6.8</b>	<b>-16.1</b>	<b>-17.7</b>	<b>-13.0</b>	<b>-16.7</b>	<b>-9.1</b>	<b>-18.3</b>	<b>-20.5</b>	<b>-3.3</b>	<b>-20.5</b>	<b>-14.7</b>	<b>-13.3</b>	-11.4	<b>-13.2</b>
	傾	向 値	-22.5		-17.5		-14.9		-14.9		-15.4		-16.1		-15.7		-14.8			
収 益	増	加	3.0	8.3	3.0	6.1	5.9	3.0	3.0	2.9	8.8	-	3.0	8.8	6.3	3.0	-	6.3		-
	変	ら ず	81.8	66.7	75.8	78.7	73.5	78.8	66.7	76.5	58.8	78.8	72.8	64.7	71.8	69.7	78.1	68.7		75.0
	減	少	15.2	25.0	21.2	15.2	20.6	18.2	30.3	20.6	32.4	21.2	24.2	26.5	21.9	27.3	21.9	25.0		25.0
	D	・I	-12.2	-16.7	-18.2	-9.1	-14.7	-15.2	-27.3	-17.7	-23.6	-21.2	-21.2	-17.7	-15.6	-24.3	-21.9	-18.7		-25.0
	修	正 値	<b>-15.6</b>	<b>-11.9</b>	<b>-21.6</b>	<b>-13.8</b>	<b>-8.6</b>	<b>-17.2</b>	<b>-23.2</b>	<b>-14.4</b>	<b>-25.0</b>	<b>-14.0</b>	<b>-22.7</b>	<b>-21.6</b>	<b>-11.1</b>	<b>-24.4</b>	<b>-16.9</b>	<b>-15.7</b>	-5.8	<b>-17.4</b>
	傾	向 値	-21.5		-18.2		-16.3		-17.1		-19.5		-21.3		-21.8		-21.3			
価 格 動 向	料	金 価 格	0.0	2.8	12.2	3.0	5.9	12.2	3.1	8.9	14.7	12.1	0.0	14.7	6.3	3.1	3.1	0.0		0.0
	"	修 正 値	<b>0.6</b>	<b>3.6</b>	<b>7.5</b>	<b>1.9</b>	<b>8.1</b>	<b>8.9</b>	<b>3.8</b>	<b>8.8</b>	<b>13.6</b>	<b>12.7</b>	<b>-3.0</b>	<b>13.1</b>	<b>8.7</b>	<b>1.1</b>	<b>5.1</b>	<b>1.9</b>	-3.6	<b>2.0</b>
	"	傾 向 値	-2.7		0.9		4.1		5.3		7.1		7.5		6.0		6.0			
	材	料 価 格	18.2	19.5	27.2	21.2	32.3	27.2	30.3	35.3	38.3	30.3	21.2	29.5	37.5	21.2	34.4	28.2		34.4
	"	修 正 値	<b>16.0</b>	<b>21.6</b>	<b>22.3</b>	<b>18.6</b>	<b>31.1</b>	<b>21.5</b>	<b>31.0</b>	<b>33.4</b>	<b>34.4</b>	<b>31.7</b>	<b>19.5</b>	<b>27.6</b>	<b>36.3</b>	<b>18.0</b>	<b>34.5</b>	<b>26.6</b>	-1.8	<b>34.8</b>
	"	傾 向 値	14.9		18.6		23.0		26.0		29.5		31.3		31.2		32.3			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資	金 繰 り	-6.1	-11.1	-6.1	-6.1	-11.8	-9.1	-12.1	-14.7	-8.8	-9.1	-9.1	-5.9	-15.6	-9.1	-12.5	-15.6		-18.8
	"	修 正 値	<b>-8.0</b>	<b>-10.6</b>	<b>-9.4</b>	<b>-9.3</b>	<b>-7.0</b>	<b>-10.0</b>	<b>-10.9</b>	<b>-11.1</b>	<b>-11.5</b>	<b>-7.7</b>	<b>-12.5</b>	<b>-10.6</b>	<b>-10.2</b>	<b>-10.8</b>	<b>-10.3</b>	<b>-11.0</b>	-0.1	<b>-15.7</b>
前 年 同 期 比	売	上 額	-6.1		-6.1		-11.7		-18.1		-8.8		-18.2		-9.3		-9.3			
	収	益	-12.2		-18.2		-20.6		-27.3		-20.6		-24.2		-15.6		-18.8			
雇 用	残	業 時 間	3.0	-2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-6.1	-2.9	0.0	-6.1	0.0	0.0		0.0
	人	手	-12.2	-11.1	-6.1	-6.1	-11.8	-3.1	-9.1	-8.8	-2.9	-3.0	-3.0	-2.9	-3.1	-3.0	-3.1	-3.1		-3.1
借 入 金	借	入をしない/借入の予定あり(%)	9.1	2.8	0.0	0.0	2.9	0.0	6.1	2.9	2.9	6.1	6.1	5.9	9.4	9.1	6.3	6.3		6.3
	借	入しない/借入の予定なし(%)	90.9	97.2	100.0	100.0	97.1	100.0	93.9	97.1	97.1	93.9	93.9	94.1	90.6	90.9	93.7	93.7		93.7
	借	入 難 易 度	<b>6.5</b>		<b>6.7</b>		<b>10.0</b>		<b>7.4</b>		<b>6.7</b>		<b>10.7</b>		<b>0.0</b>		<b>-10.7</b>			
有効回答事業所数			33		33		34		33		34		33		32		32			

# 中小企業景況調査 転記表 2

令和6年7月～9月期

## サービス業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和4年		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		令和6年		令和6年		対 前期比	6年 10-12 月期
	10月～12月期	1月～3月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期		
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	-2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	<b>実施した・予定あり</b>	<b>3.0</b>	<b>2.9</b>	<b>3.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>5.9</b>	<b>5.9</b>	<b>0.0</b>	<b>12.1</b>	<b>2.9</b>	<b>6.3</b>	<b>6.1</b>	<b>6.3</b>	<b>6.3</b>		<b>6.3</b>	
	事業用土地・建物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	機械・設備の新・増設	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	50.0	50.0
	機械・設備の更改	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	100.0	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0
	事務機器	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	車両	-	100.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実施しない・予定なし	97.0	97.1	97.0	100.0	100.0	100.0	100.0	94.1	94.1	100.0	87.9	97.1	93.7	93.9	93.7	93.7		93.7	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	30.3		27.3		17.6		21.2		29.4		24.2		31.3		31.3			
人手不足		12.1		9.1		11.8		6.1		8.8		3.0		9.4		3.1				
同業者間の競争の激化		24.2		24.2		32.4		27.3		26.5		24.2		28.1		31.3				
大企業との競争の激化		3.0		6.1		5.9		9.1		8.8		9.1		6.3		6.3				
合理化の不足		-		-		2.9		-		-		-		3.1		3.1				
利幅の縮小		-		3.0		5.9		9.1		2.9		3.0		9.4		9.4				
取扱事務の陳腐化		-		-		-		-		2.9		3.0		3.1		-				
材料価格の上昇		21.2		24.2		23.5		21.2		23.5		24.2		34.4		37.5				
料金の値下げ要請		-		-		-		-		-		-		-		-				
人件費の増加		-		3.0		2.9		6.1		2.9		6.1		3.1		3.1				
人件費以外の経費の増加		3.0		3.0		5.9		6.1		2.9		3.0		3.1		3.1				
技術力の不足		-		-		-		-		-		-		3.1		-				
取引先の減少		6.1		6.1		8.8		3.0		2.9		-		-		-				
商圏人口の減少		6.1		3.0		-		-		-		3.0		3.1		3.1				
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-				
駐車場の確保難		-		-		-		-		-		-		-		-				
店舗・設備の狭小・老朽化		-		-		-		-		-		3.0		-		-				
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		-		-				
天候の不順		-		-		-		-		-		-		-		-				
地場産業の衰退		-		-		-		-		-		-		-		-				
大手企業・工場の縮小・撤退		-		-		-		-		2.9		-		-		-				
その他		-		-		-		3.0		-		-		-		-				
問題なし		42.4		42.4		35.3		36.4		38.2		42.4		25.0		31.3				
重点経営施策(%)	販路を広げる	21.2		27.3		26.5		27.3		26.5		21.2		25.0		21.9				
	経費を節減する	27.3		33.3		35.3		36.4		35.3		33.3		46.9		46.9				
	宣伝・広告を強化する	15.2		9.1		8.8		9.1		8.8		12.1		18.8		18.8				
	新しい事業を始める	-		-		-		3.0		-		-		3.1		3.1				
	店舗・設備を改装する	-		-		-		3.0		2.9		3.0		3.1		3.1				
	提携先を見つける	-		-		-		-		-		3.0		3.1		-				
	技術力を強化する	6.1		6.1		5.9		9.1		5.9		3.0		9.4		15.6				
	機械化を推進する	3.0		3.0		2.9		-		-		-		-		-				
	人材を確保する	6.1		3.0		5.9		3.0		2.9		3.0		-		-				
	パート化を図る	-		-		2.9		3.0		2.9		-		-		-				
	教育訓練を強化する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	労働条件を改善する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	3.0		3.0		2.9		3.0		5.9		3.0		3.1		3.1				
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-				
特になし	45.5		42.4		41.2		39.4		41.2		48.5		31.3		34.4					
有効回答事業所数	33		33		34		33		34		33		32		32					



## 江東区 中小企業の景況

(令和6年度第2四半期 江東区中小企業景況調査報告書)  
令和6年7月～9月期

【発行】江東区地域振興部経済課  
〒135-8383 東京都江東区東陽 4-11-28  
TEL：03（3647）2332 ダイヤルイン

【分析】株式会社 サーベイリサーチセンター  
〒116-8581 東京都荒川区西日暮里 2-40-10  
TEL：03（3802）6711（代表）

【調査】一般社団法人 東京都信用金庫協会  
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-8-1